



**令和３年度「グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業
(Global Startup Connection＋Regional)」**

調査報告書

令和4年3月31日

目次

第一章．事業全体の目的及び概要

- (1) 事業の目的
- (2) 事業のコンセプト
- (3) スタートアップ・エコシステムの形成が著しい地域拠点の選定
- (4) 事業の背景

第二章．各イベントの概要

(1) 東京イベント

- (ア) 実施概要
- (イ) イベント参加者
- (ウ) アンケート結果
- (エ) 当日の様様
- (オ) 次回開催に向けた改善事項

(2) 大阪イベント

- (ア) 実施概要
- (イ) 登壇企業概要
- (ウ) 当日の様様
- (エ) アーカイブ・J-StartUp50社紹介映像
- (オ) イベント参加者
- (カ) アンケート結果

(3) 仙台イベント

- (ア) 実施概要
- (イ) イベント参加者
- (ウ) 登壇企業の選考、選定企業、東北イスラエルプログラム
- (エ) 登壇企業の選考、選定企業、J-Startup TOHOKU
- (オ) ピッチ事前ブラッシュアップ
- (カ) アンケート結果
- (キ) 当日の様様
- (ク) 次回開催に向けた改善事項

第三章．広報活動

- (1) ウェブサイト
- (2) 広報活動
 - (ア) 東京及び大阪イベント広報
 - (イ) 東京イベント広報
 - (ウ) 大阪イベント広報
 - (エ) 仙台イベントの広報

第四章．まとめ

事業全体の総評

第一章．事業全体の目的及び概要

2021年9月に開催したGlobal Startup Connectionを踏まえ、日本からユニコーンを生み出すため、第2弾のイベントを開催し、海外投資家・大企業に日本の魅力を発信した

(1) 事業の目的

第一弾 2021.9開催（前回）『JAPAN INNOVATION GARDEN』



－ J-Startups for NET ZERO －

日本のスタートアップの投資環境の魅力や社会課題解決に向けた取組を世界に発信するイベント『Global Startup Connection』を2021年9月9、10日に開催した

登壇スタートアップ

Spiber、日本環境設計、マイクロ波化学、テレイグジスタンス、チャレナジー、Ale、ファームシップ、SyncMOF、mui Lab、ヘラルボニー



第二弾 2022.2-3開催（今回）『Global Startup Connection + Regional』



『Global Startup Connection』の開催を踏まえ、更に強化した第二弾となるイベントを2022年2月～3月に開催する

実施目的

日本からユニコーンを次々と創出するべく
海外の投資家・大企業に日本の魅力を発信する

- ✓ 日本のスタートアップの投資環境の魅力を発信
- ✓ 社会課題解決に向けた取組みを発信
- ✓ 日本流イノベーションカルチャーの発信
- ✓ 海外の投資家・大企業と日本の地域スタートアップとのマッチング

日本からユニコーンを創出するべく、海外の投資家・大企業に日本の魅力を発信するという目的達成に取り組むため、「世界と日本をつなぐ3本の矢」というコンセプトを立案した

(2) 事業のコンセプト

一の矢



世界から注目を集める

日本流イノベーションカルチャーを世界に向けて発信する
大規模なビジネスカンファレンスを開催し、日本への注目を高める



二の矢



世界から投資を呼び込む

海外から日本スタートアップへの投資の呼び込みを実現するため、
グローバル拠点都市、推進拠点都市が連携して、J-Startup地域版を
中心とした各地域の有力スタートアップを海外投資家にPRする



三の矢



東日本大震災から10年の節目となる年に 今までの歩みと今後の飛躍を世界に発信

甚大な被害を及ぼした東日本大震災から10年という節目となる年に、
東北スタートアップエコシステムの歩みと今後の飛躍を、東北と強いつなが
りを持つイスラエルを中心とした海外関係者に発信するイベントを開催する



SUエコシステムの形成が著しい地域としてグローバル拠点都市及び推進拠点都市を選定、海外投資家等とのマッチングを効果的に実施するため、イベント開催は3拠点に集約した

(3) スタートアップ・エコシステムの形成が著しい地域拠点の選定

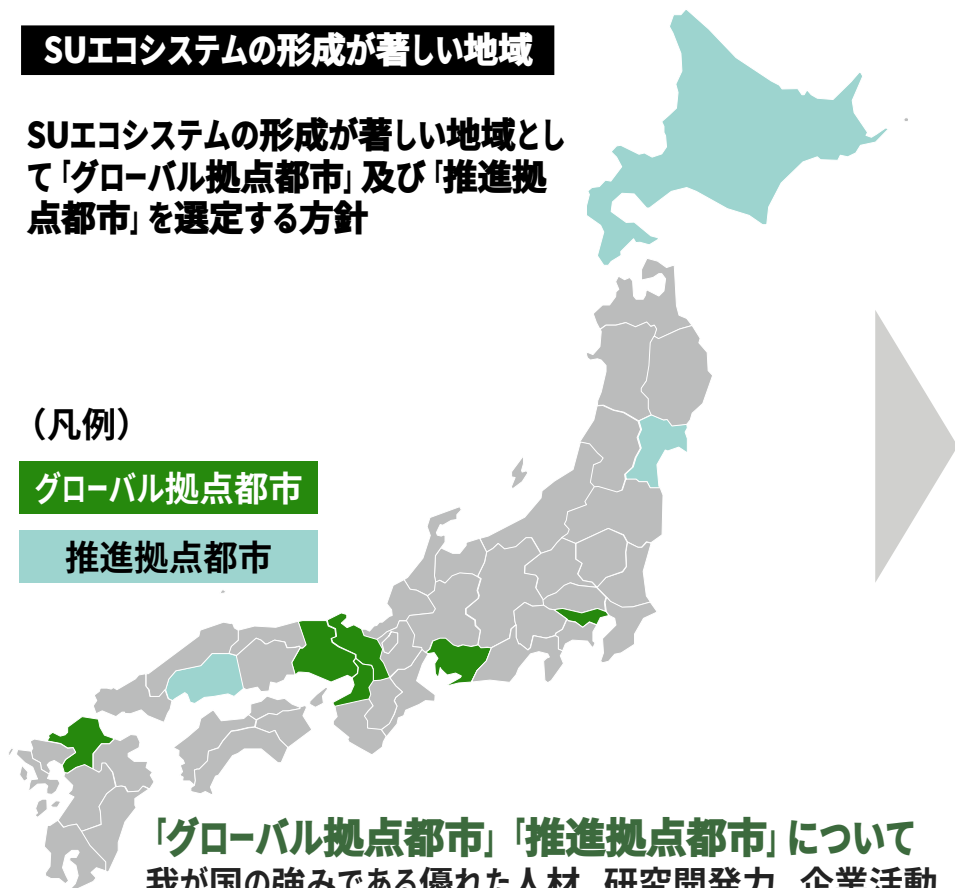
SUエコシステムの形成が著しい地域

SUエコシステムの形成が著しい地域として「グローバル拠点都市」及び「推進拠点都市」を選定する方針

(凡例)

グローバル拠点都市

推進拠点都市



「グローバル拠点都市」「推進拠点都市」について

我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を、内閣府が選定するもので「グローバル拠点都市」が4か所、それに準じる「推進拠点都市」が4か所選定されている。

イベント開催拠点

一の矢



エコシステムランキング9位に入り、世界的にも注目を集めている東京において海外からの注目を集めるイベントを開催する

二の矢



グローバル拠点都市及び推進拠点都市間の連携を実現するため、完全オンラインで開催する。イベント開催拠点は、2025年に万博を控える大阪を選定し、海外の注目を高めつつ、全国各地域の有力スタートアップと海外投資家とのマッチングを目指す

三の矢



震災からの10年で東北スタートアップエコシステムは飛躍的に成長した。特につなぐの深いイスラエルや米国などの海外進出支援を強力に押し進めている。10年という契機に復興から振興への切り替えを明確に海外に発信していくため、仙台でイベントを開催する

世界全体でユニコーン企業数が急増しており、米国・中国が桁違いのユニコーン企業を誇る中、GDP3位である我が国のユニコーン企業数は、まだ6社に留まっている状況にある

（４）事業の背景 | ユニコーン企業数の国別比較（2021年8月時点）

ユニコーン Rank	GDP Rank 2020年	国名	ユニコーン 企業数	具体的なユニコーン企業名
1	1	アメリカ	402	Stripe、SpaceX、Instacart 等
2	2	中国	158	Bytedance、Yuanfudao、DJI 等
3	5	インド	41	BYJU ʘ、One97 Communications 等
4	6	英国	31	Revolut、Checkout.com 等
5	33	イスラエル	18	Transmit Security、Pagaya 等
5	4	ドイツ	18	Celonis、Trade Republic、Otto Bock HealthCare 等
7	7	フランス	17	Sorare、Back Market、ContentSquare 等
8	10	カナダ	14	SSENSE、PointClickCare、ApplyBoard 等
9	9	ブラジル	13	Nubank、QuintoAndar、C6 Bank 等
10	12	韓国	10	Toss、Yello Mobile、WEMAKEPRICE 等
11	35	シンガポール	8	Grab、HyalRoute、Trax、PatSnap、Moglix、Matrixport 等
12	14	オーストラリア	6	Canva、Airwallex、SafetyCulture、Culture Amp 等
12	36	香港	6	FTX、Lalamove、Trendy Group International 等
12	3	日本	6	Preferred Networks、SmartHR、SmartNews、Paidy、Liquid、Playco

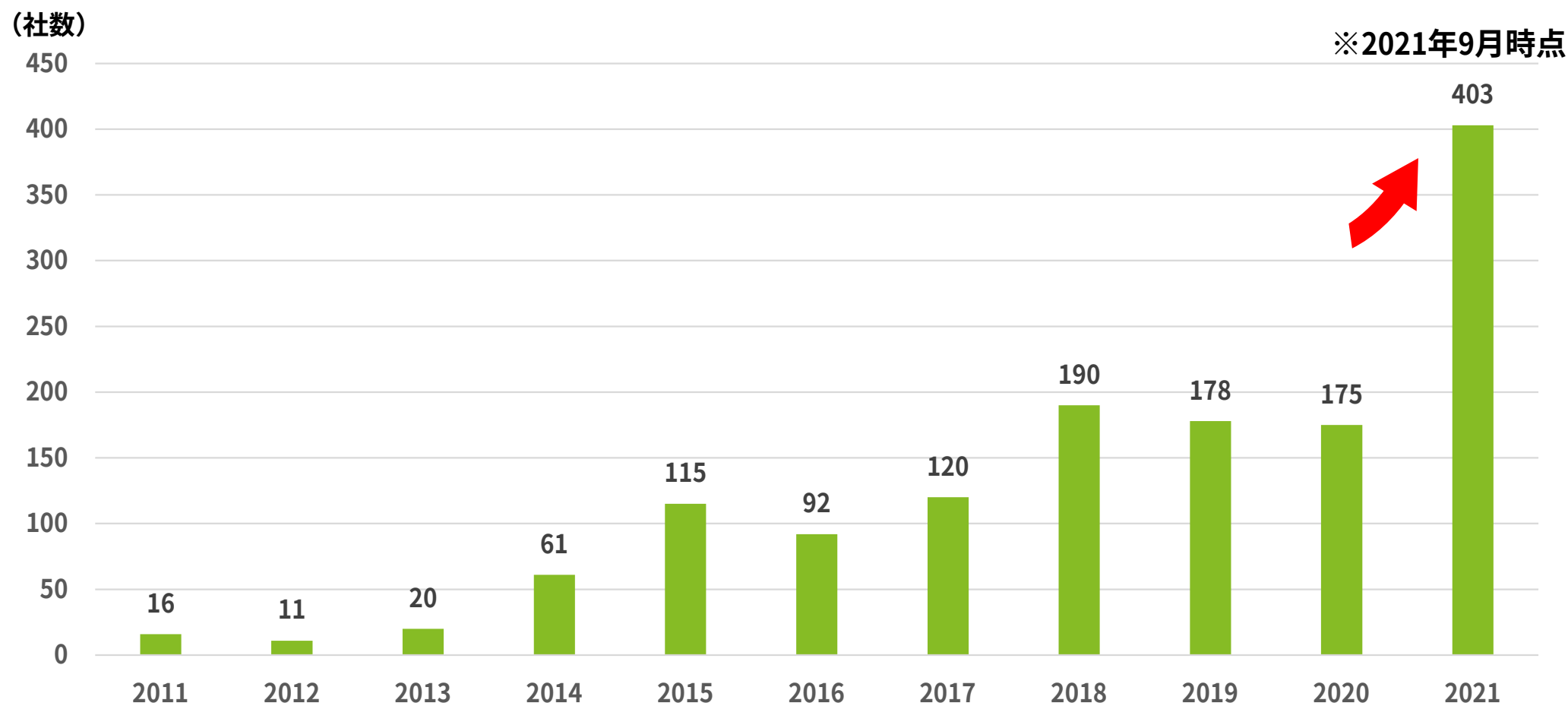
※ユニコーンとは、企業評価額が10億USD以上で未上場のスタートアップを指す

表1-1-1. ユニコーン企業数の国別比較

出所：CB Insights Global Unicorn Club_2021

2021年新たにユニコーンとなった企業数は、9月時点で403社と前年の2倍超となっており、ユニコーンの数は、今年急激に増加。ついに全世界合計で1,000社を突破している

(4) 事業の背景 | 新たにユニコーンとなった企業数の年間推移



※ユニコーンとは、企業評価額が10億USD以上で未上場のスタートアップを指す

図1-1-1. 新たにユニコーンとなった企業数の年間推移

出所：crunchbase

第二章．各イベントの概要

（１）東京イベント

日本流イノベーションカルチャーを世界に向けて発信する ‘Innovation Garden’ を生配信・収録配信を併用して開催した

(ア) 実施概要 (1/5) 全体概要

● 開催名称	Innovation Garden 2022
● 開催日程	2022年2月18日（金）・19日（土）・20日（日） 3日間開催
● 開催時間	10:00 ～ 18:30
● 開催会場	配信会場 有楽町 micro FOOD & IDEA MARKET（千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル1F）
● コンテンツ	キーノートセッション
● 開催形式	オンライン開催 ※事前申込制
● チケット種別	オンライン参加 : [2月18日 - 20日 無料] \0-
● 参加人数	オンライン参加 : [2月18日 - 20日] \0-・・・人数無制限
● 主 催	Innovation Garden 実行委員会（三菱地所・読売新聞・博報堂）
● 後 援	経済産業省
● 招 聘	Ars Electornica/オーストリア・Border Sessions/オランダ・C2/カナダ

イベントタイトルは「イノベーションを育む『庭』」をコンセプトに「Innovation Garden」とした

(ア) 実施概要 (2/5) イベントタイトル及びロゴ

東京から世界に向けたグローバルなスタートアップ・エコシステム形成のため、海外と日本の登壇者/参加者が「入り混じる」庭のような空間を形成

日本庭園を象徴する「枯山水」をモチーフに



日本国旗の「赤」と
日本流のart（技術＝芸術）を表現する「金」

イノベーションを育む「庭」をコンセプトに
日本庭園を意味するGardenをタイトルに

図2-1-1. 東京イベントイメージ

Innovation Gardenらしい世界観の演出で日本流イノベーションを世界に発信した

(ア) 実施概要 (3/5) 展開コンテンツ

- (コロナ後も含めた) これからの未来を前に進めていくイノベーションのショーケースになるようなコンテンツ展開を企画
- 社会全体をよくする、クリエイティビティを活かした「ソーシャルイノベーション」を軸に、コロナ禍で成長した今後に期待できるビジネスモデルなど紹介
- 準備段階で計画していた交流会、ブース展示、C2の「In the dark」ワークショップは新型コロナの状況を鑑み中止
- キーノートの配信及び「EventHub」の活用を中心としたオンラインでの展開に注力した

キーノート



図2-1-2. 東京・キーノート1



図2-1-3. 東京・キーノート2

会場にはデザインユニット「GOO CHOKI PAR」によるキービジュアルパネルを設置、生配信と事前収録を合わせ複数のセッションを展開した。

交流会



図2-1-4. 東京・交流会

EventHubの掲示板やメッセージの機能を活用。セッション中にはモデレーターがコメントを読み上げるなど、活発な交流と意見交換が生まれた。

ブース展示



図2-1-5. 東京・ブース展示1



図2-1-6. 東京・ブース展示2

リアル体験の中止に伴いオンラインブースとして、EventHub上にJ-startupを紹介する動画チャンネルを設置した。

飽きが来ず、なおかつ参加者が新たな分野に触れられるよう、各セッションのテーマや登壇者のバランスを考慮したスケジュール設計とした

(ア) 実施概要 (4/5) タイムテーブル

- 3日間を通して、様々なキーノートを視聴してもらえよう、余裕を持ったタイムテーブルを設計
- 2・3日目の事前収録セッションはメイン会場で上映し、当日の参加者登録も受け付けた

	2/18 (Fri.)	2/19 (Sat.)	2/20 (Sun.)
日本	ライブ収録・配信	事前収録・ライブ配信	事前収録・ライブ配信
10:00			
10:30			食のグリーン革命 -植物を食べる未来のビジョン- 落合孝次×濱名誠久
11:00			
11:30	フェムテックの未来 尾形優子×スプツニ子！ モデレーター：南（博報堂）		
12:00		アートシンキングからみた 「新しい社会の成長」 ゲルフリート・シュトッカー	社会を変える産業としての ファッションの未来とは？ 軍地彩弓×水野大二郎×井上彩花
12:30			
13:00			
13:30	エネルギーシフトとウェルビーイング 小橋賢児×安川香澄 モデレーター：浜野（博報堂）	ポストコロナ時代の新しい建築とは？ 永山祐子×コリー・シーガー	スタートアップからはじまる ソーシャルイノベーション ゲリット・ヤン・ヴァン・ト・ヴィーン
14:00			
14:30			
15:00		日本流フードテックの未来とは？ 寺井良治×安藤芳徳×印度カリー子	日本人とデジタルアイデンティティ 崎村夏彦×武邑光裕
15:30	ローカルエコノミーから始まるイノベーション 山中大介×佐宗邦威 モデレーター：牧（SIGNING）		
16:00			
16:30		ポストコロナの資本主義 マルクス・ガブリエル	新しい成長を加速させる クリエイティビティとは ジャック・アンドレ
17:00			
17:30	ライフサイエンスとウェルビーイング 福岡伸一×高橋祥子 モデレーター：塚田（Whole Universe代表理事）	新しい資本主義時代のスタートアップ （新たな共創、Adsの未来） 河野剛進×児玉知浩×桑原智隆	個と個を繋ぐ。DXの先にあるもの。 齋藤精一×沖中直人
18:00			
18:30			

未来を前に進めていくイノベーションのショーケースになるコンテンツテーマを設定、J-startup 企業からも複数の企業が登壇した

(ア) 実施概要 (5/5) J-Startup選定企業からの登壇者

- J-Startup第三次選定企業を中心に、日本流イノベーションカルチャーを担うプレイヤーとしてキーノートに登壇
- 著名イノベーターとの掛け合わせにより、コンテンツとして世間の関心を高めることができた

2/18 (金) 生配信 11:00-12:00 #ヘルスケア #フェムテック	[登壇者] 尾形優子 (株式会社メロディ・インターナショナル) スプツニ子! (株式会社Cradle)	 ×  尾形優子 スプツニ子!
2/19 (土) 収録放映 17:30-18:30 #テクノロジー #ウェルビーイング	[登壇者] 河野剛進 (株式会社バカン 代表取締役) 児玉知浩 (株式会社INFORICH 取締役副社長) 桑原智隆 (Scrum Ventures, Vice President of Strategy)	 ×  ×  河野剛進 児玉知浩 桑原智隆
2/20 (日) 収録放映 10:00-11:00 #サステナブル	[登壇者] 落合孝次 (DAIZ株式会社 取締役研究開発部長 / Chief Technology Officer) 濱名誠久 (株式会社ZENB JAPAN 代表取締役社長)	 ×  落合孝次 濱名誠久

<セッション中、Live掲示板に寄せられたコメント(抜粋)>

- ・「対立軸ではなく仲間になってほしい」とのお言葉に可能性を感じます。
- ・アーカイブで視聴させて頂きました。教育って本当に大事ですね。
- ・女性だけの問題ではなく社会の問題ですね。解決していくことがこれからの少子高齢化問題の解決にも繋がると思います
- ・【あたらしい】ものをどんどん生み出していきたいです!
- ・社会的イノベーションという点で、食は象徴的なジャンルだなあ。

本番までの視聴登録は3,000名を数え、会社員/フリーランスを中心に幅広い層が参加した

(イ) イベント参加者

属性別参加者数

参加者は10代から60代以上まで幅広い世代におよび、会社員/フリーランスが中心であった

属性（年齢）



図2-1-7. 東京イベント参加者数1

属性（職業）



図2-1-8. 東京イベント参加者数2

本番後のアンケートより、参加理由としては登壇者関心が最も高く、イベントの満足度・今後の参加意向も高い

(ウ) アンケート結果

参加理由に関するアンケート

参加理由は「登壇者に関心があった」層が最多。中でもスプツニ子！、福岡伸一、マルクス・ガブリエルが人気が高く、満足度も高かった

あなたはなぜInnovationGardenに参加しましたか。その理由について、当てはまるものを全てお選びください。

● ビジネスに関心があったから	17
● イノベーションに関心があったから	51
● スタートアップに関心があったから	15
● アート・カルチャーに関心があっ…	29
● 全体テーマ「Alter Growth(別…	24
● 個別テーマ(DX・ウェルビーイン…	36
● 登壇者に興味があったから	55
● その他	2

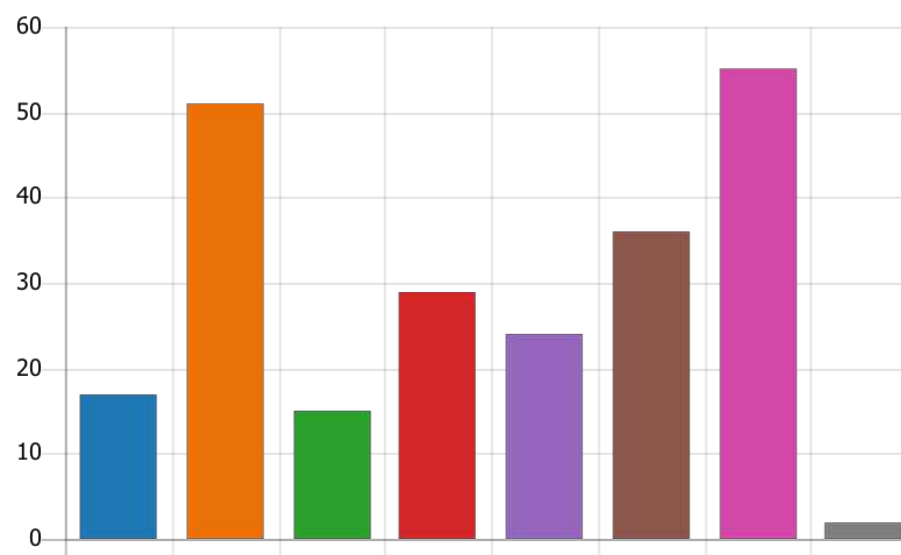


図2-1-9. 東京イベントアンケート結果

本番後のアンケートより、参加理由としては登壇者関心が最も高く、イベントの満足度・今後の参加意向も高い

(ウ) アンケート結果

満足度に関するアンケート

満足度は高く、Top2で8~9割程度。今後の参加意向も高い

あなたはInnovationGarden全体にどの程度満足しましたか。

● とても満足した	39
● やや満足した	47
● どちらともいえない	13
● あまり満足できなかった	2
● 全く満足できなかった	0

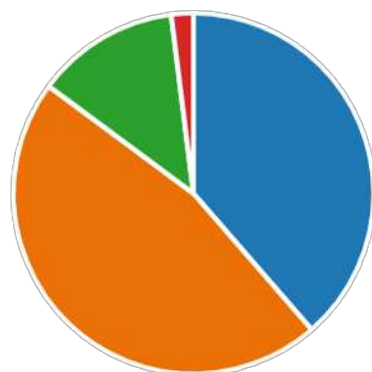


図2-1-10. 東京イベントアンケート結果1

あなたはInnovationGardenをまた見たいと思いますか。
当てはまるものを1つお選びください。

● とてもそう思う	48
● ややそう思う	45
● どちらともいえない	5
● あまりそう思わない	4
● 全くそう思わない	0

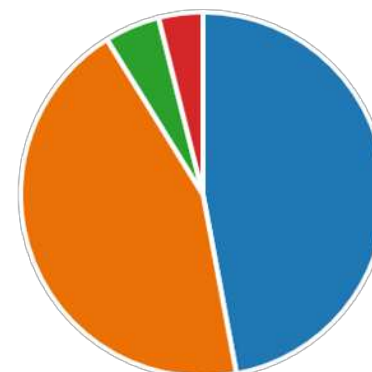


図2-1-11. 東京イベントアンケート結果2

有楽町micro FOOD & IDEA MARKETを貸し切り、キーノートセッションのステージと配信拠点として活用した

(エ) 当日の模様 配信会場

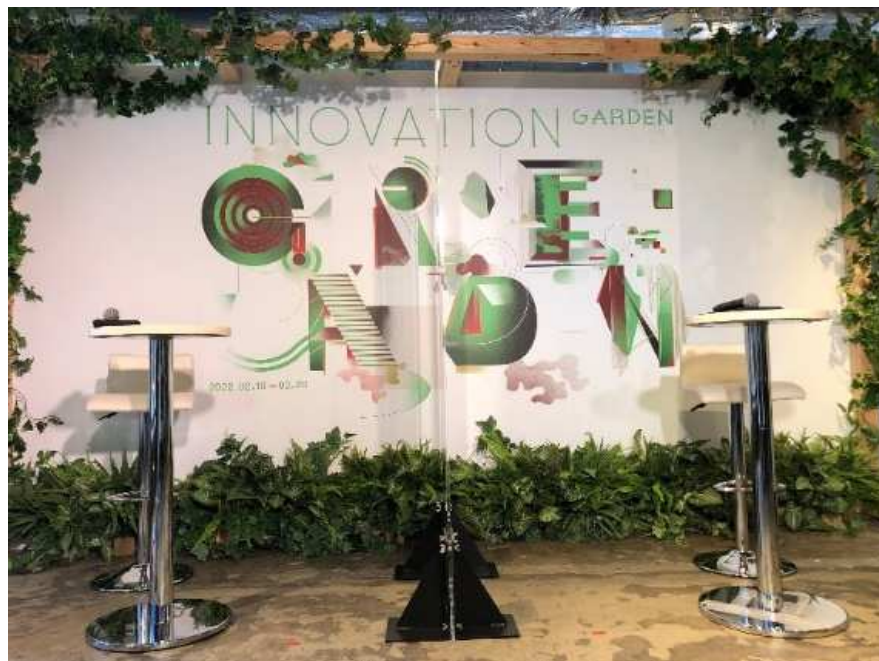


図2-1-12. 東京イベント配信会場1



図2-1-13. 東京イベント配信会場2

新型コロナの状況を鑑みリアル体験を中止したため、WEB動線やセッション配信のソフト面を中心に改善点が見出された

(オ) 次回開催に向けた改善事項

改善事項
■ HP構成の改善 - スケジュール表とキーノート登壇者の情報が連動しておらず分かりにくい部分があった - EventHub登録者がログインする動線が分かりにくかった
■ 集客における広報・PR設計 新聞中心の告知をしていた段階では、集客に苦戦した
■ 事前収録セッション - 収録会場によっては、見栄えの改善の余地や雑音が感じられた - 画面構成やBGMのクオリティにばらつきがあった - 外国語のセッションで翻訳クオリティにばらつきがあった
■ 配信準備の安定化 長尺の映像、時間帯や作業環境によってはオンライン格納に膨大な作業時間を要し、全体スケジュールを圧迫した
■ 登壇者キャスティング 全体的に好評、また、登壇者関心が参加理由において大きな割合を占めていることが分かった

対応案
■ HP構成の改善 - WEBページ内でリンクさせるなど、紐付けを行う - EventHub登録者がログインできるリンクをWEBサイトに設置する
■ Facebook ADと新聞広告の使い分けを検討し、効果的に併用 - アンケート結果から、新聞広告からは良質な顧客を獲得できた - 事前のFacebook広告は、集客（登録者の数）に大きく寄与した
■ 編集・演出面のブラッシュアップ - 収録は基本的に貸切できる会場で行う - 映像の演出・編集クオリティを統一し、ブラッシュアップを図る - 専門の翻訳会社の協力を得る
■ 余裕を持った制作進行・作業環境の改善 - 収録、編集、格納のスケジュールに余裕を持って進行する - 安定したネット環境、高スペックPCの使用などで作業負担を軽減する
■ 各界のイノベーターとのコネクション作り、キャスティングを継続 - イベントのクオリティ、参加者の満足度維持のため、今後はさらに共創できる人々を仲間に拡大していく - コミュニティ拡大のため、告知連携・情報発信も積極的に図っていく

第二章．各イベントの概要

（２）大阪イベント

2022年3月10日、オンラインによる「Global Startup Connection Japan」を開催し、大阪を起点としたイノベーションの発信と、日本のスタートアップの魅力発信の機会となった

(ア) 実施概要

● 開催名称	GLOBAL START_UP CONNECTION JAPAN
● 実施目的	日本からより多くのユニコーン創出を目指し、世界中の投資家・大企業に日本の魅力を発信 海外の投資家・大企業と日本の有力なスタートアップに細やかなマッチングの機会を提供
● 実施日時	2022年3月10日（木） 13:00 ～ 17:30
● 配信会場	ベルサール三田 ルーム2・3
● 主 催	経済産業省
● 開催形式	英語・オンライン：ZoomとEventHubを併用 ※一部コンテンツは同時通訳を配置、日本語音声も配信
● 対 象	海外の投資家、VC、大企業、及び日本のスタートアップ支援関係者 など
● 実施内容	■主催者挨拶 ■キーノートパネル ■パネルディスカッション ■ピッチセッション ■簡易商談

海外投資家及び大企業にとって魅力的な内容のイベントを実施することで、 優良な投資家を呼び込み、スタートアップに有用なマッチング機会を提供した

(ア) 実施概要 | プログラム

タイムライン	概要	登壇者
13:00-13:10	オープニング (10分)	経済産業省 挨拶
13:10-14:10	キーノート パネル (60分)	経済産業大臣政務官 吉川ゆうみ氏 [キーノート] ・パノラマティクス主宰／齋藤 精一 氏 ・株式会社SkyDrive 取締役 COO／佐藤 剛裕 氏 ・PaylessGate株式会社 代表取締役／足立 安比古 氏 [VTRメッセージ] ・大阪府知事／吉村 洋文 氏
14:10-15:10	パネル ディスカッション (60分)	日本のスタートアップ投資で成果を出してきたVCの本音が聞けるセッション ✓ 日本のスタートアップ及びエコシステムの成長ポテンシャルをどう見ているか？ ✓ 日本のスタートアップに投資をする上で留意すべき点は？ ✓ 日本のスタートアップのエグジットについてどのように見ているか？ [パネリスト] ・Coral Capital 創業パートナー兼CEO／ジェームズ・ライニー氏 ・Eight Roads Ventures Japan マネージングパートナー・日本代表／デヴィッド・ミルステイン氏 ・Light Street Capital パートナー／ガーラブ・グプタ氏 [モデレーター] ・合同会社エッジオブ・イノベーション 代表／小田嶋 Alex 太輔氏
15:15-16:25	ピッチセッション (70分)	日本全国の有望なスタートアップ18社による英語ピッチ ✓ ピッチ時間6分/社（2つのチャンネルに分かれて実施） 日本全国の有望なスタートアップ18社（後述）
16:30-17:30	簡易商談 (60分)	招待者枠の海外投資家/VCと登壇企業との1対1の簡易商談 ✓ 30分×2セッション 招待枠の海外投資家/VC、ピッチセッション登壇スタートアップ

海外投資家及び大企業にとって魅力的な内容のイベントを実施することで、優良な投資家を呼び込み、スタートアップに有用なマッチング機会を提供した

(ア) 実施概要 | 展開コンテンツの模様(1/2)

日本流イノベーションをテーマにしたキーノート、及び、日本のスタートアップ投資をしてきたVCによるパネルディスカッションを通じて、日本のスタートアップ投資の機運醸成を促した

キーノート



図2-2-1. 大阪・キーノート1

日本流のイノベーションの在り方、具体例について海外のオーディエンス目線で発信した



図2-2-2. 大阪・キーノート2

2025年大阪・関西万博の開催地・大阪府の吉村知事よりメッセージをいただいた

パネルディスカッション



図2-2-3. 大阪・パネルディスカッション

海外投資家・大企業に対して日本のスタートアップへの投資を促すためのパネルディスカッションを実施した

海外投資家及び大企業にとって魅力的な内容のイベントを実施することで、優良な投資家を呼び込み、スタートアップに有用なマッチング機会を提供した

(ア) 実施概要 | 展開コンテンツの模様(2/2)

日本全国の有望なスタートアップによるピッチセッション、及び、個別商談を実施し、海外投資家/VCとスタートアップのマッチング機会を提供した

ピッチセッション・個別商談



図2-2-4. 大阪・ピッチセッション1



図2-2-5. 大阪・ピッチセッション2

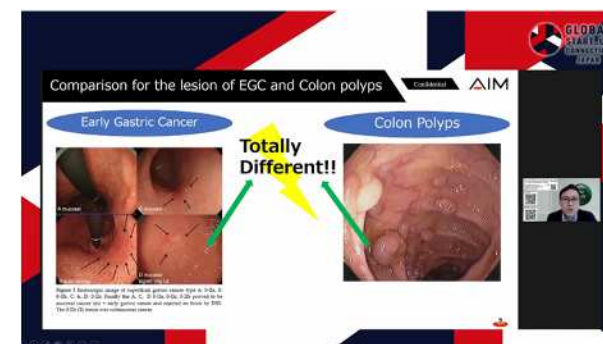


図2-2-6. 大阪・ピッチセッション3

日本の有望なスタートアップ18社によるピッチセッションで各社の魅力を発信した
各スタートアップと海外投資家/VCとの個別商談を実施した

日本の有望なスタートアップ18社がピッチ登壇及び簡易商談を実施した

(イ) 登壇企業概要 (1/2)

	分野	企業名	企業概要
1	ヘルスケア	株式会社エヌビー健康研究所	呼吸器疾患、慢性炎症や感染症を中心とした革新的な新薬の研究開発に特化した、バイオテクノロジー企業です。中核技術としてGタンパク質共役受容体（GPCR）に対する医療用機能性抗体の開発に関する最先端技術（MoGRAA [®] ディスカバリーエンジン）を有し、GPCRを標的とする創業に新しい分野を開拓し、人々の健康に寄与することを目指します。
2		CoreTissue BioEngineering株式会社	2016年に早稲田大学発のスタートアップとして創業し、独自の脱細胞化技術を応用した医療機器の開発を行っており、リードパイプラインは、膝前十字靱帯再建術用の人工靱帯です。膝靱帯再建の標準的な治療方法は、患者さんの健康な腱を採取して移植用のグラフトを作製し、これを移植する方法ですが、腱が足りず再建が十分にできないケースや、感染症などの合併症のリスクもあるため、自家腱を取らないで再建できるソリューションが医療現場から求められています。
3		株式会社アルム	「すべての医療を支える会社（All Medical）」として、「Shaping Healthcare」をコーポレートメッセージに掲げ、医療・福祉分野におけるモバイルICTソリューションの提供をしています。また、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」を始めとした医療ICT事業では、グローバル展開に積極的に取り組み、日本発の医療ICT企業として累計30カ国へのソリューション提供を行っています。
4		株式会社糖鎖工学研究所	ヒト型糖鎖の製造技術と新規ペプチド探索技術を基盤とした創業研究及びその支援を行っています。糖鎖技術による当社パイプラインは日本でのP1試験を終え、医薬品開発に利用可能な技術として実証しております。ペプチド探索技術は特異な3次元構造を有する6種以上の骨格を利用したランダムスクリーニングであり、薬効発現に適した新規ペプチドを提供します。創薬リード探索から原薬販売まで幅広く新しい価値を提供します。
5	バイオ・ヘルスケア	株式会社iCorNet研究所	テラメード方式心臓サポートネットにより重症心不全治療と致死的不整脈治療に革命を起こすアカデミア発ベンチャー企業です。高度管理医療機器製造業を取得し、First in Humanとなる臨床研究を3例実施、運動能の大幅な改善が得られています。全国5大学にて探索的治験をR4年度に予定、R5年より検証的知見を開始し、R7年度の製造販売承認を目指します。
6	フード・ヘルスケア	DAIZ株式会社	植物肉のイノベーターで、「ミラクルミート」を開発・製造しています。DAIZは将来世界中の植物肉メーカーに原料を供給することを目指しています。DAIZの特許技術である落合ハイプレッシャー法（OGM）は、大豆中の遊離アミノ酸の量を増やすことにより、本物の肉に近い植物肉を製造します。また、そのプロセスは畜産肉に比べ環境への影響も減らすことができます。
7	AI・ヘルスケア	株式会社AIメディカルサービス	東京を拠点とするスタートアップ企業であり、内視鏡AIの研究開発と販売に特化して事業展開しております。医師が内視鏡検査中に我々の内視鏡AIを使用することで、病変見逃しリスクの削減を目指します。これにより、消化管疾患の早期治療を可能にし、治療費と死亡率低下に貢献します。
8	AI	株式会社調和技研	北海道大学発AI開発スタートアップで、高度な学術レベルのAI開発力を強みとし、様々な企業様の課題解決に貢献します。AI導入コンサルティングから開発・運用までのワンストップ提供と、多彩なAI開発実績・ノウハウを元にしたAIエンジンの提供を致します。また、顧客の共通課題をAIプロダクト化し、ライセンスサービスとして提供する事業も行っています。
9		株式会社 Imbesideyou	マルチモーダルAIによるオンラインコミュニケーション解析により、一人一人の個性やエンゲージメント、メンタルヘルスの状態などをみえる化し継続的改善に繋がります。国内に限らずSDGs Innovation Hub 2021のGlobal Finalで第一位、SXSW Pitch2022のファイナリスト選出などグローバルでも受賞を果たしています。創業から1年半で110件以上の国際特許出願済み、月商1400万円を達成しました。

日本の有望なスタートアップ18社がピッチ登壇及び簡易商談を実施した

(イ) 登壇企業概要 (2/2)

	分野	企業名	企業概要
10	宇宙	株式会社 Synspective	データに基づき、着実に進歩する世界の実現を目指し、衛星による観測データを活用したワンストップソリューション事業を行う会社です。内閣府「ImPACT」プログラムの成果を応用した独自の小型SAR衛星により高頻度な観測を可能にする衛星群を構築し、その衛星から得られるデータの販売、及び、それらを利用した政府・企業向けのソリューションを提供します。
11	エネルギー	京都フュージョニアリング株式会社	2019年に京都大学の持つ知見をベースに設立された会社です。当社は、特に核融合炉の加熱装置や熱取出し装置、核融合プラントエンジニアリングにおいて、世界有数の技術力を有しています。当社の高性能かつ革新的なソリューションを世界中に提供することで、世界中の核融合研究機関や事業会社と協業して核融合の実用化と商業化を加速し、カーボンニュートラルを実現することを目指します。
12	ドローン	株式会社プロドローン	産業用ドローンの開発・製造・販売を行う。特に災害対応・監視・物流ソリューションに注力しており、最大ペイロード30kgで既に社会実装しているマルチコプター型ドローン「PD6B」や最大2時間飛行可能で耐風性能に優れたヘリコプター型ドローン「PDH-GS120」等の機体を有している。また「水空合体ドローン」といった新たな挑戦も行っている。「プロドローンでしかできない機体を世界へ」を展開することを目指す。
13	IoT	mui Lab株式会社	現在のテクノロジーの先進性とウェルビーイングのギャップのラスト・ワン・インチを満たすため、穏やかなインターフェース「Calm UI」によって、人に寄り添ったデザインを実装するテック・スタートアップです。テクノロジーの日々の進化は目まぐるしいものの、人がテクノロジー側に合わせている状況は否めず、人間の行動形態や心地の良い空間など暮らしのあらゆる要素を考え抜いたデザインであると言い難いのが実情です。
14		AWL株式会社	世界約20カ国からエンジニアの精鋭が集い、シリコンバレーさながらの企業カルチャーのもと、独自開発のエッジAI映像解析技術を用いたリアル店舗での人の行動の可視化、デジタルサイネージの視聴率分析など、低価格で高精度なエッジAIカメラソリューションを提供。インド工科大ボンベイ校との共同研究による最先端の技術開発にも取り組んでおり、AIの社会実装とグローバルなビジネスの創出に挑戦している。
15		株式会社Braveridge	BLEやLTE-Mをはじめとする各種LPWAなどの無線通信技術が強みに、IoTデバイスの企画・開発・製造をワンストップで提供してきました。ハードウェア開発の視点からIoTの課題解決を徹底的に追求し、IoTサービス開発とビジネス化のスピードを飛躍的に加速させるIoTネットワークサービス「BraveGATE」、ハードウェアユニットシステム「PILEz」を提供。さらにこれらを利用した独自のIoTサービスも展開しています。
16		UPWARD株式会社	高精度な位置情報技術を活かしたモバイルアプリを通じて、営業活動データを自動で検知・記録し、現場のセールスパーソンの営業活動を支援するセールスエンゲージメントプラットフォームです。セールスパーソンのあらゆる顧客接点データを負荷なく蓄積し、企業の資産に変えます。蓄積した情報を顧客情報と合わせて地図上に自動表示させたり、アプローチ先の自動レコメンドを行なうことで、戦略的かつ素早い営業計画の策定などを支援します。
17	ソフトウェア	株式会社 TRUSTDOCK	公的個人認証をはじめ、犯罪収益移転防止法のeKYCが可能なデジタル身分証アプリと、あらゆる業法に対応するKYCのAPI基盤サービスを提供する、日本で唯一のKYCの専門業者です。eKYC/KYC導入数No.1のリーディングカンパニーとして、国内外を問わず、デジタルアイデンティティ&eKYC基盤の構築に向けて安心・安全なデジタル社会のインフラ構築を推進していきます。
18		株式会社Spider Labs	日本発のサイバーセキュリティカンパニーです。メインサービスのアドフラウド対策ツール「Spider AF」は、デジタル広告業界への信頼を高める世界最高水準の認証機関「Trustworthy Accountability Group (TAG)」の不正防止部門から日本及びAPACで初めて認証を取得しており、より信頼性の高い世界最高水準のアドフラウド対策を提供しております。

会場にテクニカルスペースを設置し、2拠点から配信を実施した

(ウ) 当日の模様 | 配信会場



図2-2-7. 配信会場の模様1



図2-2-8. 配信会場の模様2

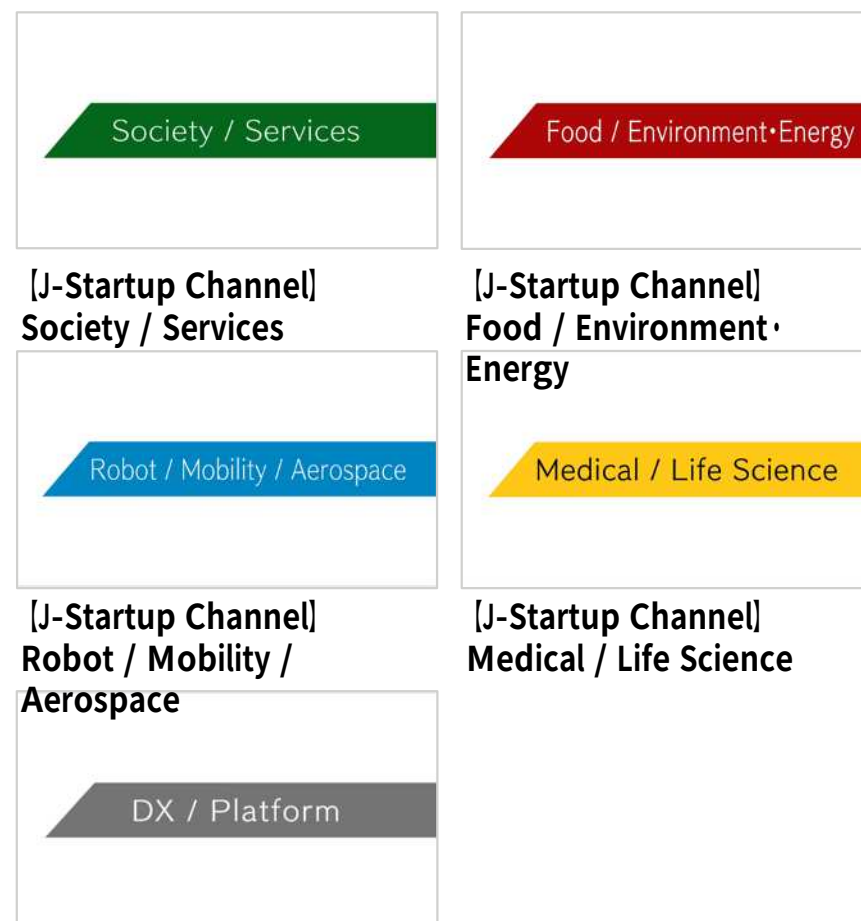
イベントの様子は、EventHub上でアーカイブとして公開を実施した

(エ) アーカイブ_J-StartUp50社紹介映像



図2-2-9. アーカイブ動画揭示

2022年3月17日（木）12:00 アーカイブ動画公開
 大阪イベントのコンテンツ毎のアーカイブと、J-StartUp50社紹介映像も合わせて公開を行った。



[J-Startup Channel]
 Society / Services

[J-Startup Channel]
 Food / Environment・Energy

図2-2-10. J-Startup動画揭示

質重視で集客を行った結果、投資家/VC以外を含む海外からの参加は71名
各プログラムで100名以上の最大数を記録し、イベント全体では236名を動員した

(オ) イベント参加者

参加国×属性 参加者数

海外投資家/VCは延べ33名、
海外からの参加は合計71名(全体のうち30%)の参加があった

国×属性 参加者数, 比率

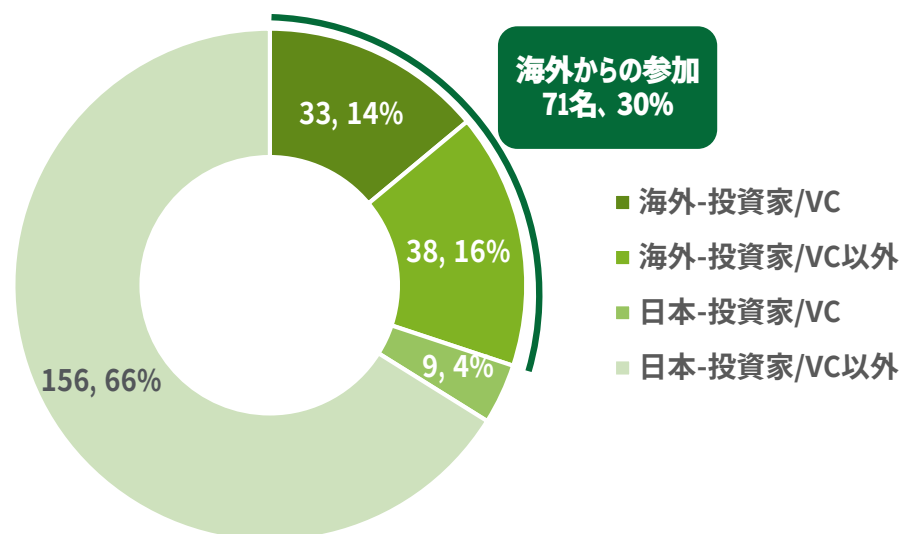


図2-2-11. 大阪イベント参加者数1

プログラム別×属性 参加者数

各プログラム共に100名以上を確保し、
イベント全体では延べ236名の参加があった

プログラム×属性 参加者数

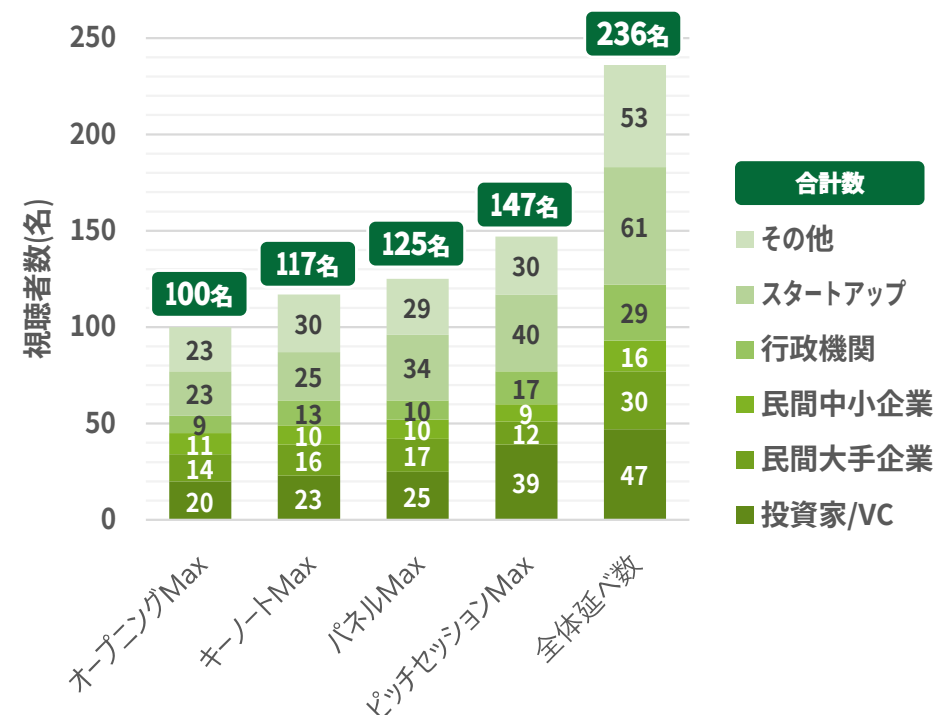


図2-2-12. 大阪イベント参加者数2

参加者を対象とした満足度調査の結果、全プログラムの満足度は73%(非常に満足・やや満足)であり、各プログラム共に一定の評価を得ることができた

(カ) アンケート結果 (1/2)

プログラム別満足度調査

キーノート 満足度72%、パネルディスカッション 満足度84%の評価を得た

トークテーマや登壇者に対する満足度は高い一方、配信の言語・音声環境への改善について意見が挙がった

プログラム別満足度調査結果

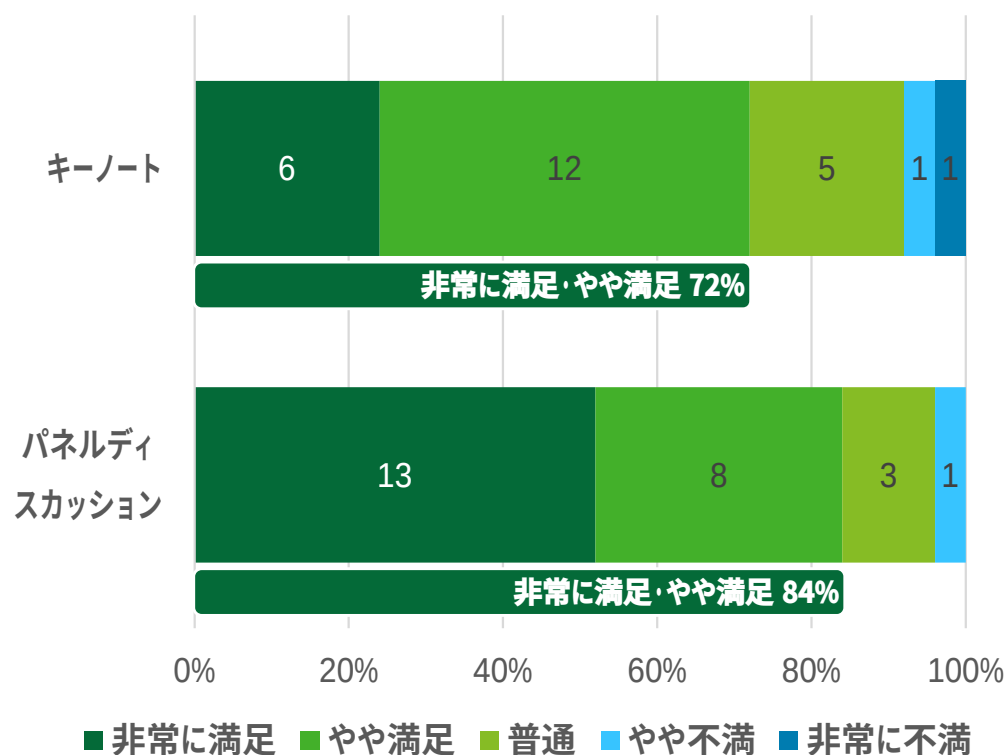


図2-2-13. 大阪イベントアンケート結果1

キーノート

- ✓ 将来の方向性を理解することに大変役に立った (海外/投資家)
- ✓ 日本の最先端の技術開発や、大阪万博にからめた話を聞いた (日本/大企業)
- ✓ オンラインで、日本語進行かつ英語字幕で始まったことによって、気が散ってしまい、集中して聞き続けることは難しかった (海外/投資家)
- ✓ 背景音が大きすぎて話に集中できなかった (日本/スタートアップ)

パネルディスカッション

- ✓ 日本のスタートアップの傾向や文化に関して、外国人投資家からの優れた洞察を得ることが出来た (海外/投資家)
- ✓ 内容もパネリストも良かった。もう少し時間があっても良かった。録画データがあれば共有してほしい (日本/スタートアップ)
- ✓ 各キャピタリストの直近の考えをフリーに聞けるととても良い機会だった。似たテーマで再度開催される時は是非参加したい (日本/大企業)
- ✓ 他のファンドマネージャーの見解を聞けるのはいつも面白いと感じている (海外/投資家)

参加者を対象とした満足度調査の結果、全プログラムの満足度は73%(非常に満足・やや満足)であり、各プログラム共に一定の評価を得ることができた

(カ) アンケート結果 (2/2)

プログラム別満足度調査

ピッチセッション 満足度56%、個別商談 満足度88%の評価を得た

ピッチセッションのチャンネル切替やピッチ時間等に関する意見が寄せられた。商談の事前サポート・意向確認等への試みはポジティブな反応を得られた

プログラム別満足度調査結果

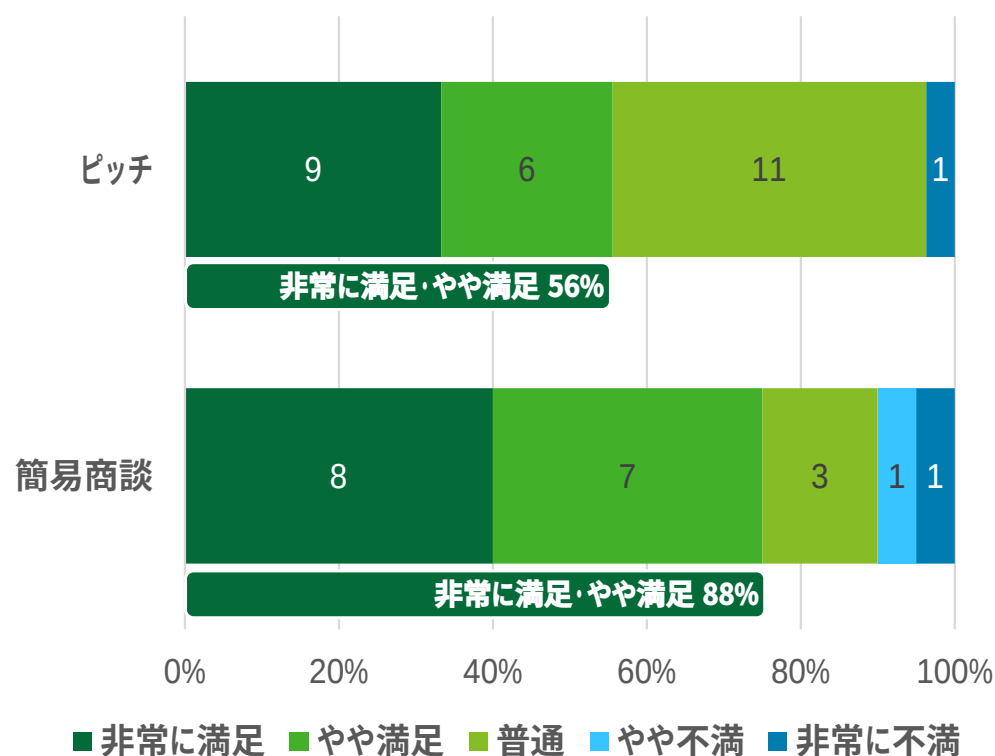


図2-2-14. 大阪イベントアンケート結果2

ピッチ

- ✓ 日本の様々なスタートアップと繋がり、事業計画を理解することができて良かった (海外/投資家)
- ✓ 意図は分かるが、2チャンネルだとタイミングがずれるため、聞きたいスタートアップに合わせて切替えるのは難しい (海外/投資家)
- ✓ 6分は少し長すぎると感じた。全てのピッチを見ることができなかったのは残念 (海外/行政機関)
- ✓ 6分のプレゼンテーションは短すぎて何も判断できない。多くの登壇者は英語で話す準備ができていなかったように感じた (海外/投資家)

簡易商談

- ✓ 全体的に素晴らしい経験になったと感じた。良い企画だった (海外/投資家)
- ✓ 事務局のサポートもあり、非常にスムーズに進行することができ、先方からも良い反応を頂けた (日本/スタートアップ)
- ✓ 主催者によって事前マッチングが図られたことが良かった (海外/投資家)
- ✓ 良いディスカッションが出来た。ただ、リモートでの商談には難しさがある (日本/スタートアップ)

第二章．各イベントの概要

（３）仙台イベント

仙台イベントは完全オンライン形式で実施。仙台・東北と関係性が深いイスラエルの投資家を中心として、グローバルなピッチイベント・つながり構築を行った

(ア) 実施概要 (3/23)

イベント名称	Global Startup Connection in Tohoku (グローバル スタートアップ コネクション in 東北)
目的	■ 海外投資家からのフィードバックを得ることで、東北のスタートアップレベルをグローバル水準に引き上げる ■ 東北のスタートアップエコシステムの中にグローバルなつながりを構築
実施日時	2022/3/23(水) 17:15 – 20:30
開催・運営方法	■ 完全オンライン ・Zoom Webinar ・Zoom Breakout Room
成果	■ ユニークユーザー数：97名（内、投資家数3名） ■ 同時最大ユーザー数：62名 ■ VC問い合わせ・マッチング数：7件 ■ 商談申込数：2件

実施概要

- 1. 開会挨拶
 - ・ 主催者挨拶 経済産業省 新規事業創造推進室長 石井 芳明様
- 2. 東北スタートアップエコシステム紹介
 - 【「Global Startup Connection in Tohoku」の紹介と東北スタートアップエコシステムについて～J-Startup事業とイスラエルプログラムに代表されるグローバル化の取り組み～】
 - ・ (株)MAKOTOキャピタル 代表取締役 福留 秀基
- 3. パネルディスカッション
 - 【パネルディスカッション『日本／東北のスタートアップがグローバルに展開するには～イスラエルのエコシステムとその経験に学ぶ～』】
 - ・ Entrepreneurship Forum Israel 会長 エラ・マタロン
 - ・ 8200 Impact マネージング・ディレクター ヘン・シュミロ
 - ・ (株)MAKOTO 代表取締役 竹井 智宏
- 4. スタートアップピッチ
 - 【「東北 - イスラエル スタートアップ グローバル チャレンジ プログラム」(以下、東北イスラエルプログラム) 及びJ-Startup Tohoku 企業によるピッチ】
 - (イスラエルプログラム参加スタートアップ8社、J-Startup Tohoku 2社)
- 5. 講評
 - Entrepreneurship Forum Israel 経営委員会委員 (President & CEO at Neubloc | Partner, Ameritege Technology Partners) アルマンド・ヴィテリ
 - 8200 Alumni Association CEO エリアナ・ダン
- 6. 閉会挨拶
 - 東北経済産業局 局長 平井 淳生様
- 7. ネットワーキング

仙台・東北発のグローバルアクセラデモデイを基軸に、東北スタートアップの海外認知を獲得することは目的とした

(ア) 実施概要 | 仙台イベントの期待値と登壇者

アジェンダ

概要

- 仙台イベントでは、メインターゲットを以下の2つに分けコンテンツをハイブリッド発信する
- ① **「東北・イスラエル SU グローバルチャレンジプログラム」関係投資家**：東日本大震災10年を期に実施された東北SUのグローバル展開プログラムに対して、コミットしている海外投資家に対し、採択SU以外への認知・関心を醸成
 - ② **他地方起業家・行政SU担当**：地域SUとの協業・投資・海外Oの機運を醸成

イベント名

『Global Startup Connection in Tohoku』

東北・イスラエル SU グローバルチャレンジプログラム



東日本大震災10年目を契機に、駐日イスラエル大使館が発起人となり、JETROとともに主催するプログラム。

東日本大震災は「日本の強靱さと不屈の精神の象徴」として世界レベルで仙台・東北を位置付ける契機となり、この10年で仙台・東北のスタートアップ・エコシステムは進化し、起業家も多数生まれているものの、事業活動の多くは東北域内や国内マーケットに限られている現状が依然存在。

イスラエルの専門家・起業家がレクチャー・メンタリングを実施することで、東北スタートアップ企業のレベルアップを図るとともに、イスラエルに蓄積されたノウハウを積極的に学ぶことにより、仙台・東北のSUが世界に目を向け羽ばたくことが狙い。

また、**実践的な知見の提供だけでなく、海外における将来のビジネスパートナー発掘の支援も実施。**

仙台に拠点を置く起業家支援企業のMAKOTO及び独立系ベンチャーキャピタルであるMAKOTOキャピタル、そして**世界的に知名度が高い8200 Alumni AssociationやMIT Enterprise Forum Israelの協力の下で実施**



期待値と登壇者

期待

本イベントに、知名度が高い海外組織と実施しているアクセラレーションプログラムのデモデイを盛り込むことで、J-Startup TOHOKUを中心とした仙台・東北全体のSUエコシステムについてイスラエルを中心とした海外グローバルSUエコシステムの活用を促進させるとともに、仙台・東北における実効性のある活動を顕示し、他地方に対する事例ベースでのロールモデルとしてアピールする。

審査員・パネリスト



**Entrepreneurship Forum Israel 経営委員会委員
アルモンド・ヴィテリ氏**

シードステージの投資コミュニティで活躍、シリコンバレーに拠点を置くKeiretsu ForumのAI Special Interest Groupを率いている。Keiretsu Forumは世界中に55の支部を持つ最も活発なシードステージのテクノロジー投資グループである。またNeubloc社、Ameritege社、RF Code社など、それぞれアーリーステージで投資を受けたスタートアップのCEOとしての確かな実績を持つ。

選定理由

SUへの支援のみならず、日本市場においても豊富な経験を有しており、様々な日本のフォーチュン・グローバル500企業とのビジネス、投資を受けた事例もあるため。

J-Startup TOHOKU代表者ピッチ



**株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長 松田 文登氏
(ピッチ代理：バックオフィス担当 大田 雄之介氏)**

「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験ユニット 株式会社ヘラルボニーの代表取締役副社長として、岩手県盛岡市に拠点を置き活動中。「障害」という言葉が持つイメージの変容に取り組んでいる。フランス、スペイン、中国、ベトナムといった海外のグループ展にも多数参加しており、**仙台・東北SUの海外展開におけるポテンシャルSUとして、海外投資家との接点を構築**いただく。

選定理由

J-Startup TOHOKU選定企業として、既に海外展開を実施しており、さらなる海外進出を図れる明確な意思を有するため。

現在までの成果発信と、今後のポテンシャル両方をグローバルに周知するために、イスラエル成功の経緯を探るパネルと東北スタートアップによるピッチへとコンテンツを差し替えた

(ア) 実施概要 | コンテンツと運営のポイント (COVID-19の流行状況を鑑み、フルリモート開催へと開催形態を変更)

コンテンツ			運営のポイント
17:15-17:18	開会挨拶 (3')	経済産業省によるご挨拶	➢ 本事業の意義や背景となる「東日本大震災10年の節目」までの東北におけるSUや支援状況の歩みを紹介する ➢ 「東北・イスラエル SUグローバルチャレンジプログラム」とJ-Startup TOHOKUの関係性をオーディエンスに理解いただく
17:18-17:28	内容紹介 (10')	本イベント紹介、東北スタートアップエコシステム紹介	➢ 震災以降、東北の復興と併せて発展した東北スタートアップエコシステムの紹介する ➢ スタートアップエコシステム形成を目的とした取り組みを説明する
17:28-17:53	パネル ディスカッション (25')	イスラエル投資家によるスタートアップエコシステムの変遷と形成方法についてのパネルディスカッション	➢ 日本側、イスラエル側間でトピックスを事前に討論し、資料を投影することで議論の方向性を定める ➢ 英語・日本語間の同時通訳を実施し、限られた時間内での討議を深める意見交換の場を創出する
17:53-18:00	休憩 (7')	休憩開始と同時に「東北・イスラエル SUグローバルチャレンジプログラム」の経緯と内容の説明を投影	➢ 休憩中の画面投影にてピッチ登壇スタートアップの概要を紹介する
18:00-19:35	デモデイピッチ(120'、 中10分マージン)	J-Startup Tohoku から2社、東北イスラエルプログラムから8社登壇	➢ J-Startup Tohoku、東北イスラエルプロジェクトの概要を簡潔に説明する ➢ ピッチルールの説明する ➢ 各社ピッチ5分、QA3分にて実施する。別途合計10分のマージンを確保する
19:35-19:45	講評 (10')	イスラエル投資家による講評	➢ 2人の投資家を招聘し、各5分の講評を依頼する
19:45-19:50	クロージング (10')	東北経済産業局によるご挨拶	➢ 東北のスタートアップを形成してきた行政の立場からプログラムを総括する
19:50-20:30	ネットワーキング (40')	オンラインネットワーク	➢ Zoom Breakout Room を利用したネットワーキングを実施する ➢ 各スタートアップの待機部屋に運営メンバーを配置し、サポート体制を確立する

申込数170名に対して動員数は約半分強となる97名であった
平日夕方の時間帯での開催となったことで、日本の申込者は多く参加頂いただいた

(イ) イベント参加者

国別イベント申込数

ユニークユーザー数：170名（内、投資家数14名）

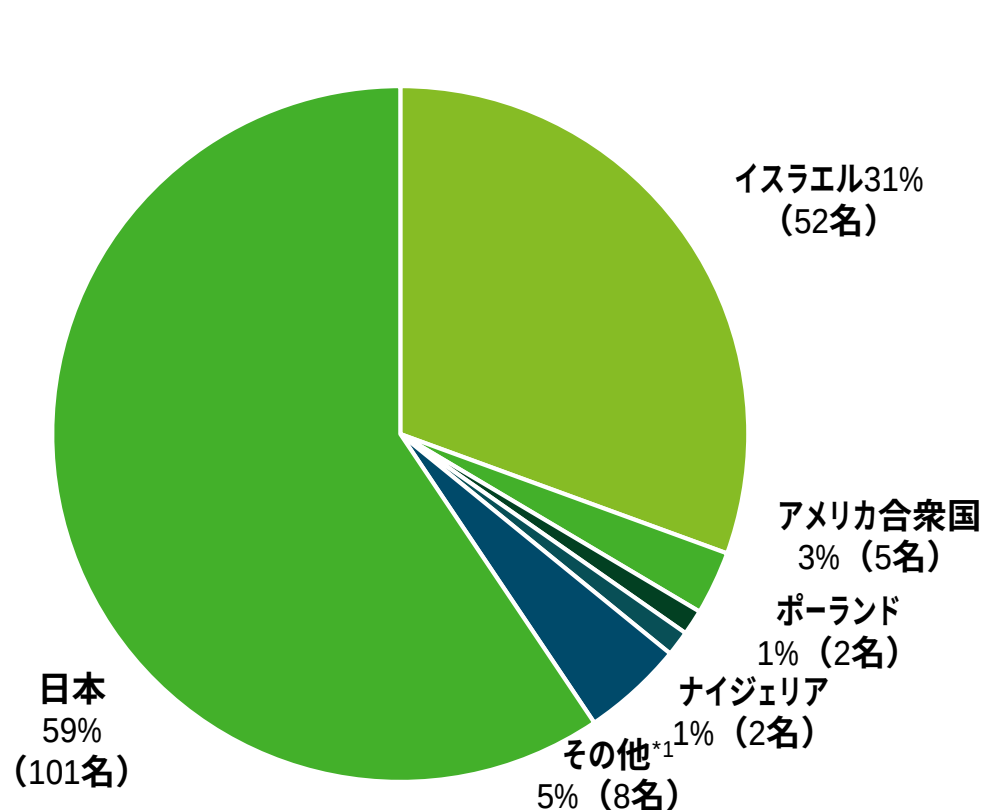


図2-3-1. 仙台イベント国別申込数

*1: オーストラリア、ギリシャ、香港、インド、リビア、マレーシア、台湾

国別イベント動員数

ユニークユーザー数：97名（内、投資家数3名）

同時最大ユーザー数：62名

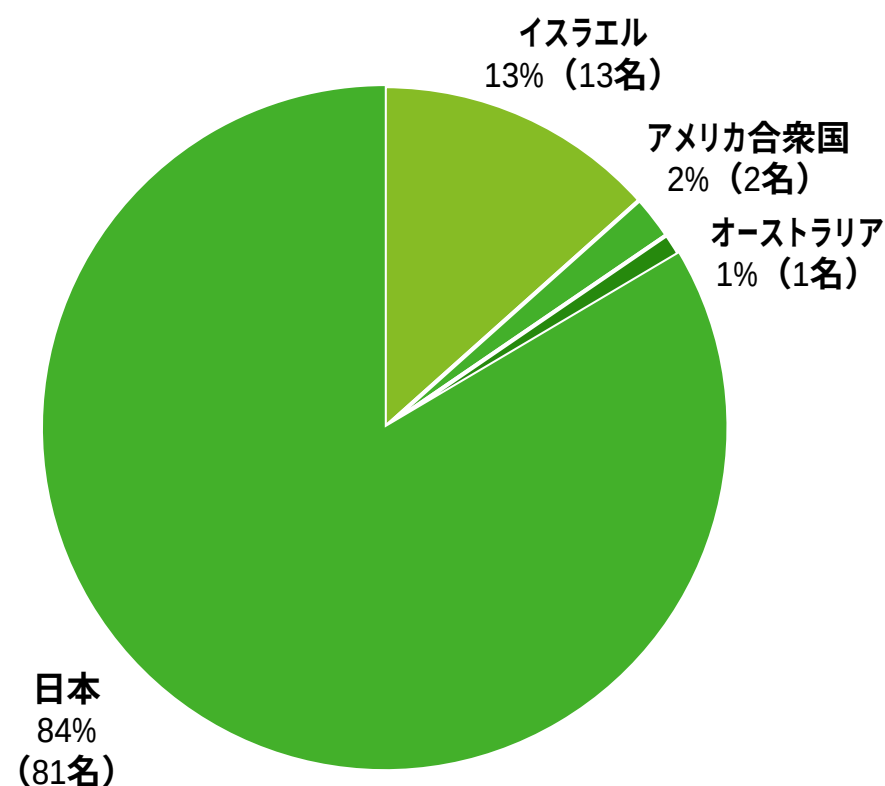


図2-3-2. 仙台イベント国別動員数

イベントに登壇する東北イスラエルプログラムスタートアップの選考は支援を受ける イスラエル側専門家のグローバル展開可能性に関する知見を最大限活用して実施した

(ウ) 登壇企業の選考、選定企業、登壇企業概要 | 東北イスラエルプログラム

東北イスラエルプロジェクト選考者

駐日イスラエル大使館

「東北・イスラエルスタートアップ グローバルチャレンジ プログラム」
運営者 (MAKOTO・イスラエル側投資経験者/起業家)

選考のポイント

- 東北イスラエルプログラム参加企業のうち、ピッチ実施企業を判断
- プログラムへの参加状況、資料の準備状況から判断

東北イスラエルプログラム代表者ピッチ



株式会社SONIRE Therapeutics 佐藤 亨氏

気泡援用技術を活用した世界初の集束超音波 (HIFU) 治療装置を開発し、がん治療の変革を目指すスタートアップ。



株式会社ミーチュー 畑山 秀俊氏

さまざまな創作活動を行うクリエイターに対し、継続的な支援を行えるファンコミュニティ「Mechu」の運営。SNSマーケティング、Vtuberプロダクション、プラットフォーム事業を展開。



株式会社aiforce solutions 吉沢 耕太氏

AI運用の内製化を強力に推進するAIデータ分析自動化ツール「AMATERAS RAY」の開発・提供。最適な予測結果を自ら、簡単に、何度も検証することが可能な製品で「一億総AI民主化」の実現を目指す。



株式会社セルスペクト グェン・ヒュ・ディエップ氏

人々の疾病予防及び健康増進を目指したヘルスケアソリューションに特化しております。SDGs (サステナブル・デベロップメント・ゴールズ) の目標3「すべての人に健康と福祉を」を実現するために、弊社はメンタルヘルスの早期診断が可能となる世界初の尿中バイオピリンテストを開発。



株式会社チェンジ・ザ・ワールド 香山 ショーン氏

産業用太陽光発電所を1ワットから分譲販売することでスマホから手軽に太陽光発電所のオーナーになれるサービス「CHANGE」の運営。耕作が放棄された農地などを活用したソーラーシェアリングの提供。



サステナブルエネルギー開発株式会社 光山 昌浩氏

次世代型バイオマス発電として都市型廃棄物の新しい処理方法である「ISOP-S」の開発、提供。亜臨界水処理システムを利用する同技術を活用し、メタン発酵ガス化プラットフォームを核とした事業を展開。



ボールウェブ株式会社 塚原 祐輔氏

東北大学の技術である、超微量な元素を検出できるボールSAWセンサー技術を事業化。超微量水分計や携帯型ガスクロマトグラフに応用。



AZUL Energy 株式会社 伊藤 晃寿氏

ドローンやEV用の次世代電池として期待されている燃料電池、金属空気電池用のレアメタルを用いない高性能触媒の開発。

イベントに登壇するJ-Startup TOHOKUスタートアップの選考は東北のスタートアップ・エコシステムのグローバル化におけるステークホルダーである2者を巻き込み実施した

(エ) 登壇企業の選考、選定企業、登壇企業概要 | J-Startup TOHOKU

J-Startup TOHOKU選考者

仙台市(仙台スタートアップエコシステム推進協議会 事務局)

東北経済産業局

選考のポイント

- 選考対象スタートアップであるJ-Startup 東北企業の状況について十分に把握している両者に依頼した
- 選考基準
 - 英語でのピッチ準備の可否を基準とした
 - 準備時間の確保できるかを基準とした
 - プログラムまでの間に計4回(各社)のピッチ準備セッション
 - セッション前後での資料準備の対応可否

J-Startup TOHOKU代表者ピッチ



株式会社フォルテ 社長室 小早川 昂平氏

“地方の課題解決が全国の課題解決に結びつく”をモットーに、革新的なソリューションを提供し、地域課題の解決を目指す。高精度な位置測位端末、骨伝導ヘッドセット、AIによる認識技術、全固体電池の開発などを行っている。



株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長 松田 文登氏 (ピッチ代理：バックオフィス担当 大田 雄之介氏)

「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験ユニット 株式会社ヘラルボニーの代表取締役副社長として、岩手県盛岡市に拠点を置き活動中。「障害」という言葉が持つイメージの変容に取り組んでいる。フランス、スペイン、中国、ベトナムといった海外のグループ展にも多数参加。

普段から英語でのピッチ練習を行っていないJ-Startup TOHOKUの登壇企業には、英語ピッチ専門家による集中ピッチブラッシュアップを複数回実施した

(オ) ピッチ事前ブラッシュアップ

J-Startup TOHOKU

課題

英語でのピッチを実施予定であった中で、登壇企業のうち2社となる J-Startup TOHOKUからの選定企業は英語ピッチの経験がないことが想定され、入念な事前準備が必要であった

対策

森若 幸次郎氏にピッチのブラッシュアップセッションを依頼。計8回(各社4回)の英語ピッチのブラッシュアップを実施し、セッション外の時間においてもアドバイス等により短期間でのブラッシュアップに成功した

森若 幸次郎氏

株式会社シリコンバレーベンチャーズ 代表取締役社長兼CEO / 株式会社モリワカ 専務取締役兼CIO



海外と日本を繋ぐイノベーションプロバイダー、ファミリービジネス二代目経営者、起業家

19歳から7年半単身オーストラリア在住後、ハーバードビジネススクールにてリーダーシップとイノベーションを学ぶ。

約6年間シリコンバレーと日本を行き来するだけでなく、近年はNextシリコンバレーを訪れ、英語での高い交渉力を活かし、グローバルスタートアップ支援を行う。「日本各地でのイノベーション・エコシステムの構築方法」や「どのように海外スタートアップと協業しオープンイノベーションを起こすか」を講演やコラム等を通じて発信。国内外アクセラレーター支援、ピッチ指導（英語・日本語）等も行う。



図2-3-3. ピッチブラッシュアップ トラルボニー



図2-3-4. ピッチブラッシュアップ フォルテ

本プログラムのアンケート結果はイベント全体を通して高い評価を得られている。商談の問い合わせも今後の発展が期待される内容が寄せられた

(カ) アンケート結果

イベントに関するアンケート

イベント登録・宣伝内容といったイベント前の品質とともに、イベント本体の構成や各内容・Zoom品質まで高い評価を得ることが出来た

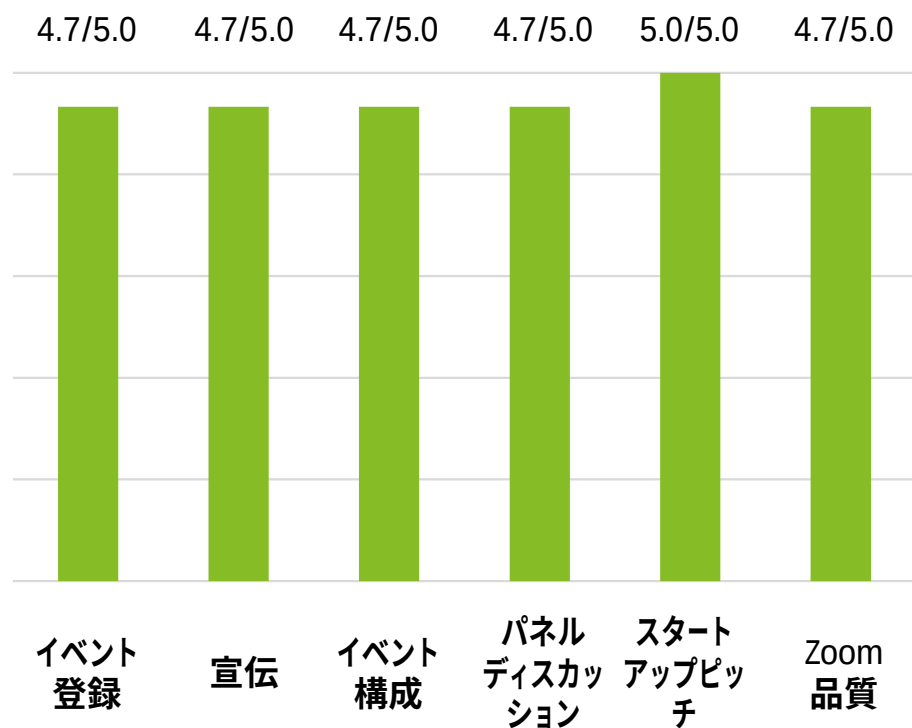


図2-3-5. 仙台イベントアンケート結果

商談に関するアンケート

商談の問い合わせを終了2日後において2件獲得。双方とも海外展開・共同研究に関する商談の問い合わせであり、今後が期待できる

	地域	属性	役職	先方の希望
#1	イスラエル	投資家	代表	Can I assist you in your International Sales and Business Development?
#2	日本	国立大学	教授	スタートアップの1ページ版の説明資料が欲しい、スタートアップを自社のネットワークやパートナー等に紹介したい (非認知的スキル、ロボット工学などで、テルアビブ大学のラボと共同研究を進めているところです)

表2-3-1. 仙台イベント商談アンケート

プログラム中の様子は以下の通り。大きなトラブルなく日本・イスラエル・アメリカからの登壇者を接続することができた

(キ) 当日の模様



図2-3-6.ピッチルール説明



図2-3-7.イスラエル人投資家（アメリカ合衆国在住）による講評



図2-3-8. イスラエル投資家によるパネルディスカッション

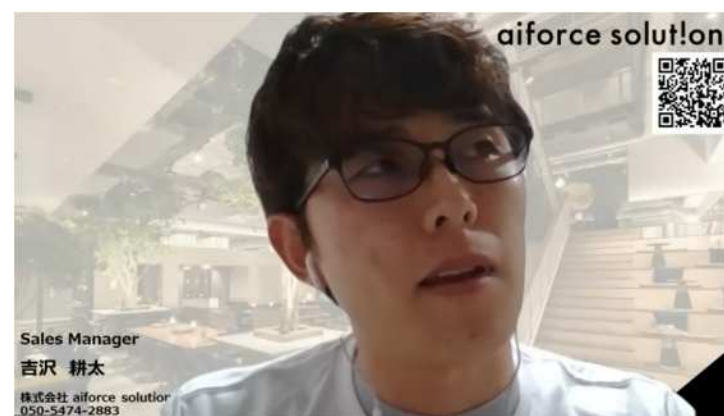


図2-3-9. スタートアップによるピッチ

海外投資家の行動特性に沿ったプログラム実施が課題と思料する。 プログラムの進行については大きな問題はなかったものの、改善策が期待される

(ク) 次回以降に向けた改善策

改善事項	対応案
■ イスラエル時間にて開催時間が朝方～日中となり、外国人応募者数に比して外国人参加者数が少ない結果となった	■ イスラエル時間夕方から実施する（例：イスラエル時間15:00,日本時間22:00） ■ ピッチを切り出した形でのPR活動する
■ プログラム全体の時間が長く、離脱する参加者が見られた ■ 海外投資家の行動特性にマッチしていなかった	■ ピッチを切り出した形でのPR活動する ■ One Pager（海外投資家が見慣れている1ページでの事業計画資料）を事前共有する
■ 登壇者数が多く、画面切り替え時にラグが発生した	■ リアルやハイブリッドにてイベントを開催する ■ 登壇者のみ会場に集合し、観客はオンラインでの構成とする
■ 17:53まで実施予定であったパネルディスカッションの時間が超過した為、18:00から開始するピッチとの間に休憩を挟むことができなかった	■ プログラム全体を通した時間管理を徹底する
■ パネルディスカッション時に同時通訳のラグから意思疎通が困難な場面があった	■ パネルディスカッション登壇者のみならず通訳担当も含めた事前ミーティングを実施する

第三章．広報

（１）ウェブサイト

東京、大阪、仙台のイベントを集約したGlobal Startup Connection + RegionalのWEBサイトを制作、イベントどうしをリンクでつなぎ、相互送客を図った

Global Startup Connection + Regionalと各ページの連携

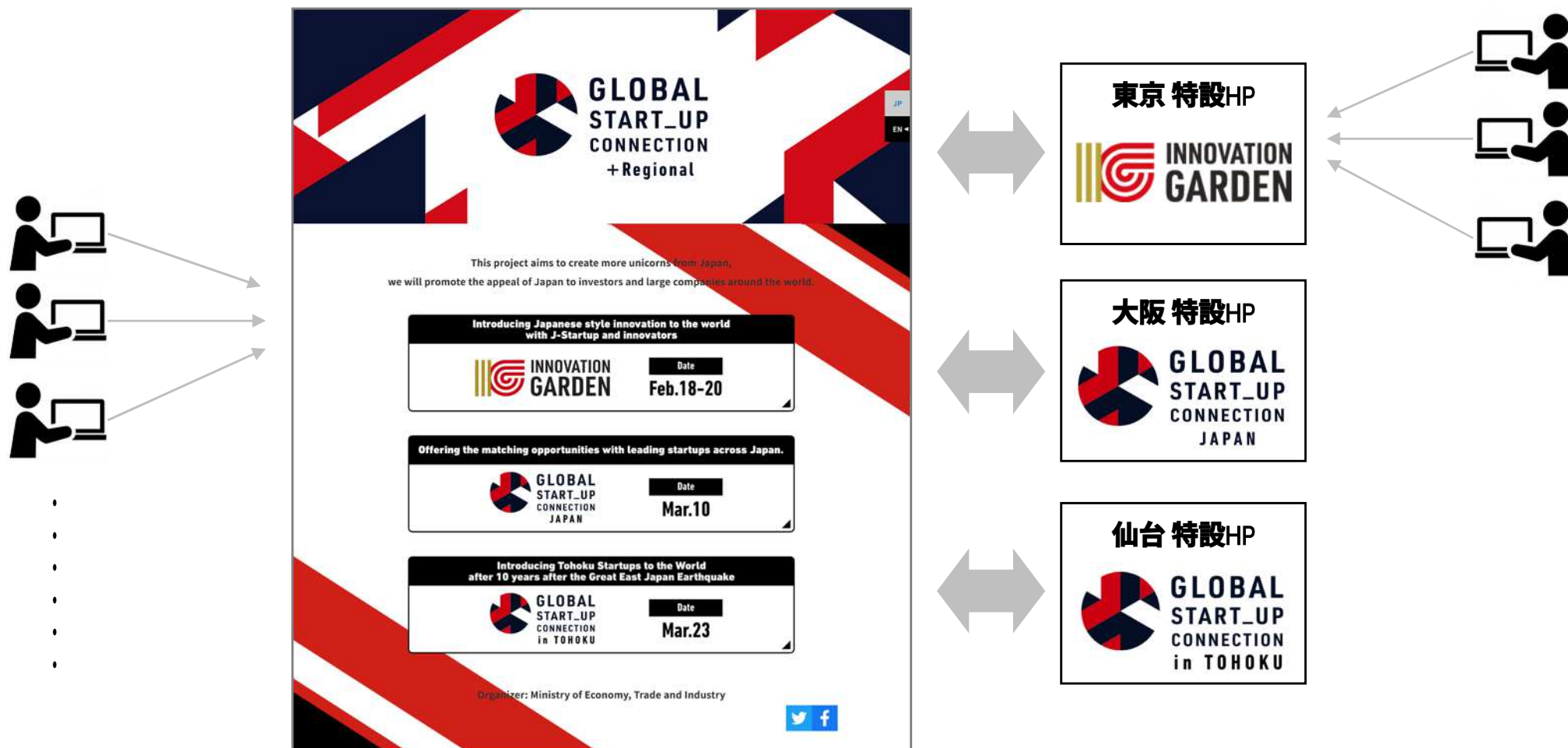


図3-1-1. Global Startup Connection + Regionalと各ページの連携

東京、大阪、仙台のイベントを集約したGlobal Startup Connection + RegionalのWEBサイトを制作。イベントどうしをリンクでつなぎ、相互送客を図った

Global Startup Connection + Regional 特設ホームページ（英語版／日本語版）

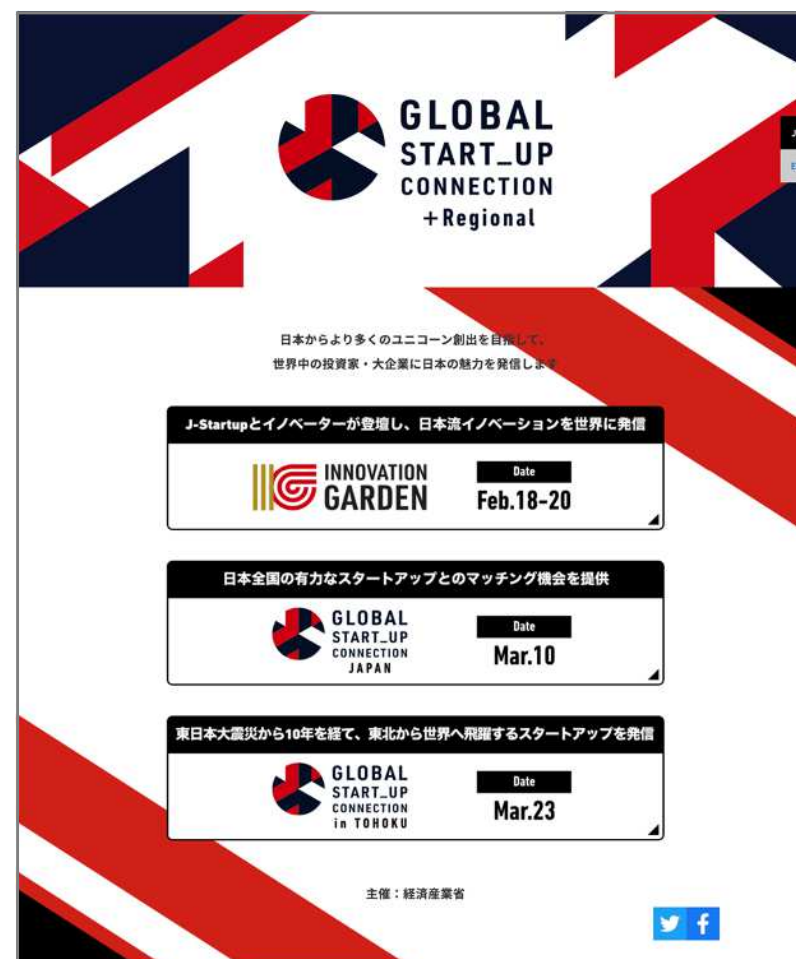
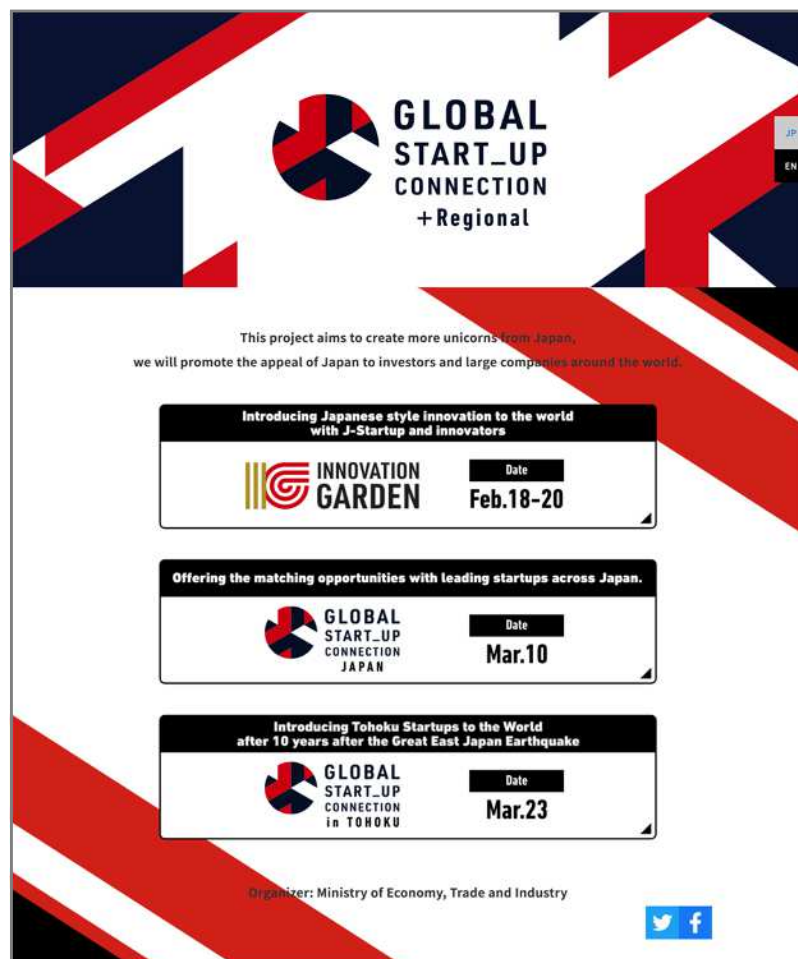


図3-1-2. Global Startup Connection + Regional特設ホームページ（英語版／日本語版）

東京、大阪、仙台のイベントを集約したGlobal Startup Connection + RegionalのWEBサイトを制作。イベントどうしをリンクでつなぎ、相互送客を図った

Global Startup Connection JAPAN 特設ホームページ（英語版）

Time	Event	Speakers
13:00-13:10(JST, the same applies hereafter)	Welcome remarks by the organizer	Yusumi Yoshikawa Parliamentary Vice-Minister of Economy, Trade and Industry
13:10-14:10	Keynote panel	Discussions on latest landscape of innovations in Japan by leading innovators from Expo 2025 Osaka, Kansai ● Senichi Saito, President of Parametrix ● Daishiro Sato, Skyline Inc. / CEO ● Yasuhiko Adachi, Payless Gate Inc. / CEO Message from the host of Expo 2025 Osaka, Kansai ● Kiyofumi Yoshimura, Governor of Osaka Prefecture
14:10-15:15	Panel discussion	Panel discussion by leading international VCs investing in Japanese startups ● Potential of Japanese startups and ecosystems ● Tips for investing in Japanese startups ● James Wines, Carol Capital / Founding Partner & CEO ● David Willson, Eight Roads Ventures Japan / Managing Partner, Head of Japan ● Gourav Gupta, Light Street Capital / Partner ● Alex Odajima, EDGE OF INNOVATION / CEO
15:15-16:25	Pitches by startups	CH-1 - Health Care: M&H Health Laboratory Co., Ltd. - Health Care: CareHouse BioEngineering Inc. - Health Care: Aline Inc. - Health Care: GlyTech, Inc. - Biotechnology & Health Care: Curitel Laboratory - Health & Wellness: S&T Inc. - AI & Health Care: UPM&L, Inc. - AI: EXOSIA GREEN Corporation - AI: F&D Bioscience Inc. CH-2 - Autonomous: Synspec Inc. - Energy: Kyoto Powerengineering Ltd. - Space: Proxima Co., Ltd. - AI: med Lab, Inc. - AI: A&I, Inc. - AI: BrownEdge Co., Ltd. - AI: A&I, Inc. - Software: H&S&S&S Inc. - Software: Spider Labs Ltd.

Welcome remarks by the organizer

Yusumi Yoshikawa
Parliamentary Vice-Minister of Economy, Trade and Industry

Keynote panelists

Senichi Saito, President of Parametrix
Daishiro Sato, Skyline Inc. / CEO
Yasuhiko Adachi, Payless Gate Inc. / CEO

Pitch Event

Logos of participating startups: KINOTO FUSIONERING, Synspec, med Lab, Inc., M&H Health Laboratory, Curitel Laboratory, UPWARD, CTBE, TRUSTOCK, Aline, ASK, PRODRONE, DAIZ, SPIDER LABS, 調和技術, Curitel Laboratory, GlyTech, Inc., BrownEdge Co., Ltd., AIM, GlyTech, Inc., BrownEdge Co., Ltd., AIM.

Inquiry

Click here for inquiries

LINK

GLOBAL START-UP CONNECTION, INNOVATION GARDEN, GLOBAL START-UP CONNECTION IN TOKYO

Sign up for free!

図3-1-3. Global Startup Connection JAPAN特設ホームページ（英語版）

東京、大阪、仙台のイベントを集約したGlobal Startup Connection + RegionalのWEBサイトを制作。イベントどうしをリンクでつなぎ、相互送客を図った

Global Startup Connection JAPAN 特設ホームページ（日本語版）



GLOBAL START-UP CONNECTION JAPAN

主催：経済産業省
開催日：3月10日（木）13:00～（JST）
※各セッションは別途開催。アーカイブ検索は3月10日（木）13:00（JST）まで公開いたします。

日本のスタートアップ・イノベーションの最新動向とコネク

- ① 大坂・関西万博のキーマンであるイノベーターによるキーノート
- ② 日本のスタートアップへの投資について深掘りするパネルディスカッション
- ③ 日本全国の有望なスタートアップによるピッチ

無料参加登録

登録済の方はこちらから[ログイン](#)してください。

プログラム

時間	セッション	内容
13:00-13:15 (15分、山下開場)	経済産業省に挨拶	副会挨拶 経済産業大臣政務官 吉川 幸久
13:15-14:15	キーノートパネル	2025年大坂・関西万博のキーマンが登壇し日本全国イノベーションについて熱いセッションを開催 ●パノコマティクスエス/代表 梅一樹 ●株式会社iSkyrive 取締役 COO/佐藤 雅博 ●PaylessLife株式会社 代表取締役/荒立 友宏 氏 万博の開催地、大坂府の各行政部署よりメッセージ ●大阪府知事 吉村 洋文 氏
14:15-15:15	パネルディスカッション	日本のスタートアップの強みは？市場のトレンドは？投資を成功させるコツは？日本のスタートアップ投資で成果を出してきたVCの最前線が聞けるセッション ●Covest Capital 投資パートナー兼CIO/ケイムズ・ライオン ●Light Roads Ventures Japan マーケティングパートナー・日本代表/デヴィッド・ロス・アーン ●Light Street Capital (パートナー)・ダウ・ダブ・ダブ ●創興会社エンジエロイノベーション代表/中島様 Alan 氏
15:15-16:20	ピッチイベント	C10-1 1. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 2. ハルマリア CartTissue BridgingEngineering株式会社 3. 株式会社ハルマ 株式会社ハルマ 4. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 5. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 6. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 7. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 8. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 9. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 10. ハルマリア 株式会社ハルマリアー健康研究所 C10-2 1. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 2. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 3. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 4. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 5. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 6. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 7. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 8. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 9. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所 10. ハルマ 株式会社ハルマリアー健康研究所

開会挨拶		
 経営政策室 経済産業大臣政策官 吉川 ゆうみ		
キーノートパネル 登壇者		
 パシフィック・アジア・エリート 取締役 総一	 株式会社Hydrex 取締役 CEO 取締役 剛樹	 Representative Director, Representative Director 設立 智比寿
パネルディスカッション 登壇者		
 Global Capital 代表パートナー兼CEO ジェームズ・ライニー	 Eight Roads Ventures Japan リーディングパートナー 代表役員 ザヴィッド・ミル斯坦	 Light Street Capital パートナー ローラ・ダブグ
 エグゼクティブ 会社設立エンゲージ・イニシアチブ代表 小田嶋 Alex 太輔		



FUSIONENGINEERING

東京システム・研究所
東京・フェスティバル・アワード
代表取締役



Synspecive

東京大学
株式会社Synspecive



Introduce you

サービス・デザイン・フォーラム
株式会社Introduceyou



NO NATION LABORATORY

東京大学
株式会社・エス・エー・ラボ
代表取締役



株式会社LIFE

株式会社LIFE株式会社



CTBE

東京大学
CorTBeet
Buildingengineering株式会社



TRUSTOOCK

サービス・デザイン・フォーラム
株式会社TRUSTOOCK



Allier

東京大学
株式会社Allier



ASW

北海道
株式会社ASW



UPWARD

株式会社UPWARD



PROORONE

株式会社
株式会社PROORONE



DAIZ

株式会社DAIZ



SPIDER LABS

株式会社Spider Labs



調和建築大

株式会社調和建築大



Corbett Laboratory

株式会社Corbett研究



GlyTech, Inc.

東京大学
株式会社GlyTech, Inc.



Znanenidge

株式会社Znanenidge



AIM

東京大学
株式会社AIM・メディア・デザイン
センター

お問い合わせ

お問い合わせはこちら



GLOBAL START-UP CONNECTION



INNOVATION GARDEN



GLOBAL START-UP CONNECTION in TOKYO

無料参加申し込み受付中
-3月10日締め-




図3-1-4. Global Startup Connection JAPAN特設ホームページ（日本語版）

Global Startup Connection in Tohoku ウェブサイト上にプログラム次第、スタートアップのプロファイルを記載し、VC、ポテンシャルパートナーにわかりやすい情報伝達を実施した

Global Startup Connection in Tohoku 特設ホームページ

Global Startup Connection in TOHOKU (グローバル スタートアップ コネクション in 東北)		
17:15-17:30	開会式 (2)	主催者挨拶 関係者挨拶 参加者挨拶 乾杯 開演
17:35-17:55	参加スタートアップ企業紹介 (バズメーション (2))	「Global Startup Connection in Tohoku」の趣旨が参加スタートアップ企業に伝わるように、参加スタートアップ企業は、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
17:55-18:05	パネルディスカッション (2)	「パネルディスカッション」は、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
18:05-18:20	休憩 (7)	休憩
18:20-18:35	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
18:35-18:50	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
18:50-19:05	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
19:05-19:20	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
19:20-19:35	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
19:35-19:50	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
19:50-20:05	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂
20:05-20:20	セッション (2)	セッションは、参加スタートアップ企業が、自己紹介の動画を制作し、会場に上映する。 (注) HANQ25 キャラバン 代表取締役 船橋 美穂



GLOBAL
START-UP
CONNECTION
in TOHOKU

Online registration

March 23, 2022 (Wed)
- You are welcome to join us online -



GLOBAL
START-UP
CONNECTION
in TOHOKU

This event is sponsored by:
The Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)

J-Startup TOHOKU 企業

東北経済産業局が仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会と連携して実施する「J-Startup TOHOKU」に認定されたスタートアップです。



小早川 涼平 氏
株式会社フォルデ

地方の経済発展が国家の課題解決に結びつくことをモットーに、最新のAIソリューションを提供し、地域課題の解決を目指します。最先端な技術開発、人材育成、AIによる課題解決、全国展開の支援などを行っています。

AIソリューション
https://www.fold.co.jp/

メルマガ登録
メルマガ登録は、最新の技術や最新の製品情報を得るための大切な手段です。この機会にぜひご登録ください。

Pitching Startups

「東北-イスラエル スタートアップ グローバル チャレンジプログラム」参加スタートアップ & J-Startup TOHOKU企業



スタートアップの詳細はこちら →

図3-1-5. Global Startup Connection in Tohoku 特設ホームページ

第三章．広報

（２）広報活動

2月中旬の東京イベントでマスメディアも活用しながら多くの登録者を獲得し、3月上旬の大阪イベントではその登録者へのアプローチも含めて国内外に広報を展開した

(ア) 東京及び大阪イベント広報

東京イベント 2/18-20

読売新聞のを中心に、マスメディアに対してニュースリリースを展開。さらに、Facebookを中心としたデジタルでの告知を実施した。

読売新聞／SNS (FB) を中心に各種展開



図3-2-1. 東京イベント広報

大阪イベント 3/10

海外向けにはSNSを活用し、さらに国内向けには東京イベントの登録者に向けて告知活動。関心度の高い層に向けて効果的な広報を展開した。

【海外】
LinkedInを活用して告知展開



【国内】
東京イベントの登録者へ
告知展開



図3-2-2. 大阪イベント広報

また、J-Startup紹介動画を制作し、
東京・大阪の両イベント上で「J-Startup Channel」として展開



図3-2-3. J-Startup Channel

(イ) 東京イベント広報 (1/3)

WEBバナー | 読売オンライン



WEBバナー | 読売オンラインビルボード



WEBバナー | Native Ocean



Facebook廣告



読売新聞5段広告 | 12月掲載

未来を解く鍵、見つけよう。



東京イベントでは、マスメディアやSNS広告を活用して事前広報を展開し、特にFacebook広告で多くの登録者数を獲得できた

(イ) 東京イベント広報 (2/3)

事前

読売新聞15段広告 | 2/4掲載

次のイノベーションは何だ。 INNOVATION GARDEN

人間、初めて月を踏む

スマート農業 実用へ前進

ネット活用 楽しく勉強

シェアする駐車場

日丸衛星 おおすみ地球を回る

別国の観 ネットで見守り

介護現場 ロボット活用

レトルト食品

キャッシュレス身近に

電子ゲーム 競技化に注力

AI作曲 ネット配信、販売も

ケーブル不要 快適イヤホン

家庭と世界、情報で直結

日本流イノベーションカルチャーの「いま」がわかる3日間

2/18(土)-20(日) 10:00-18:30 参加無料!

図3-2-9. 東京・読売新聞広告2

リリース配信

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスPR TIMES

Top | デテクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ

世界最先端の3つの海外カンファレンスも集結するビジネスイノベーションの祭典
Innovation Garden 2022 開催!

職業・年齢・国籍もボーダレス! "マスクを使った"ニューノーマルなビジネスマッチングや視覚を奪われた"暗闇"ディスカッションで、次世代のイノベーションを!

Innovation Garden実行委員会

2022年1月25日 17時05分

Innovation Garden 実行委員会(三菱地所株式会社、読売新聞社、株式会社博報堂)は、グローバルビジネスカンファレンス「Innovation Garden 2022」を2022年2月18日(金)～20日(日)に有楽町にて開催します。

「Innovation Garden」は、オンラインとリアルを融合させた新しい体験価値「Overline(オーバーライン)」をコンセプトに、異なる価値観や知恵を調和させながら創造力に変換する日本流イノベーションを通じて新たなビジネスを生み出すカンファレンスです。2020年より開催しており、今回で3回目となります。第1回は業種・業界の異なる約800名が、第2回は約630名がそれぞれ参加し、ポストコロナ時代における最先端の課題の共有やアイデアの創発に取り組みました。参加者の行動ログに基づいたビジネスマッチングは2回の合計で390件に上りました。

「Innovation Garden 2022」ではInnovation Garden 初となるリアルイベントも開催し、国内外の一流イノベーターによる「キーノート」に加え、コロナ後の新世界を前に進めるビジネスイノベーションの創出を後押しすべく様々なコンテンツもご用意しました。

中でも注目は「マスクで参加者の興味領域が分かる!」ビジネス交流を盛り上げる「マスク入場パス」!『視覚を奪われた"暗闇"ディスカッションで本音トーク!日本初上陸コンテンツ「In the dark」!』など、参加者同士が職業・年齢・国籍などの属性を超えて本音で語り合えるコンテンツです。この他、日本約々録日にカラフルでアートな世界観をかけた新しい「ビジネス録日」を表現した空間演出や、キーノートの登壇者がオススメする

図3-2-10. 東京・リリース配信

三菱地所 オウンドメディア

ポスター／チラシ

INNOVATION GARDEN 2022
Innovative Showcase under Covid-19
入場料無料・観覧券も無料・参加費も無料

日本流イノベーションカルチャーの今がわかる

マルクスガブリエル (Markus Gabriel)

スプツニ子! (Sputnik!)

小僧賢児 (Kozou Kenji)

落合孝次 (Takaguchi Takashi)

データコモンズ ローカルエコノミー サステナビリティ アグリカルチャー

DX ウェルビーイング アート

2/18(土)-20(日) 10:00-18:30 参加無料!

INNOVATION GARDEN

図3-2-11. 東京・三菱地所オウンドメディア

イベント終了後も広告を打つことで、 次回開催までの新規来場者の確保、及びイベントの認知度向上を図った

(イ) 東京イベント広報 (3/3)

事後

読売新聞15段広告 | 3/12掲載



新型コロナウイルスは、1755年のリスボンでの地震がもたらした18世紀のヨーロッパの啓蒙主義と同じレベルで世界に影響を与えるでしょう。
今後私たちは「新しい啓蒙」の誕生を目撃することを、私は100%確信しています。
マルクス・ガブリエル (哲学者)



印度カリヤ
(コトバンクのデジタル編集者兼ディレクター)
これまでなかった食文化をつくるには「ずっと同じことをやり続けること」で偏見を取り除くことが大切。



安藤芳徳
(株式会社エヌ・エス・エス 代表取締役兼マーケティング部長)
食のイノベーションは、おいしくないと意味がない。右脳中心の子供が楽しめるものは、世の中に受け入れられない。



奇井良治
(株式会社ピーエスエス 代表取締役兼経営企画部長)
誰かを助けること、それは35歳年かけてできたかった食物連鎖ピラミッドを破壊して、順序を入れ替えることを意味する。



河野剛道
(株式会社パソナ 代表取締役)
メディアの価値が高まる中で、広告が重要。サービスが拡大できる。どんどんユーザーに優しい世界が届けられていく。



スブツニ子
(株式会社Cradle 代表取締役)
男性もぜひフェムテックの領域へ入ってきてほしい。
身近なところから相互理解を始めることで、フェムテックの波を広げていってほしい。



児玉知浩
(株式会社PIONEER 代表取締役)
ベンチャーからイノベーションが起きているのを、触媒として大企業を支える方がスピード感があると思う。



森田智隆
(Sunet Ventures, Vice President of Strategy)
自分の事業だけでなく自社一社とか、そういう視点を超えて、WEの範囲を拡げていくことが重要。



沖中直人
(株式会社インテリジェント 代表取締役)
オモ・サビにコンスタントに、人生100年時代。何歳になってもワクワクできる。そんな「いのち輝く」社会になれば年を重ねることが怖いことはなくなるはず。



尾形優子
(インフォメーション・デザイン・ラボ 代表取締役)
フェムテックにいろんなプレイヤーを巻き込んでいくことが重要。私もこう思ってた!という声を可視化していくべき。



崎村夏彦
(株式会社OpenMind Foundation 代表取締役)
プライバシーとは、自分の属性を選択的に提供し相手との関係を構築して差になることを意味する。



武島光裕
(インフィニティ 代表取締役、元富士通社長)
経済で社会的に、国としてのアイデンティティをどう確立するのかが重要。年頃はアヴァンガードなどに代表される「より多様なデジタル・アイデンティティ」が構築されていく必要がある。



齋藤精一
(パナマティクス 代表取締役)
DXは目的ではなく手段。コロナを経て「いのちの豊かさ」が問い直されているいま、DX化によるWell/Wellnessの実装という価値創造をしていくべき。

日本流イノベーションの「いま」がわかる3日間 Innovation Garden 2022の「記録」
INNOVATION GARDEN 3.31までアーカイブ動画無料公開中!
Innovation Garden 実行委員会 三愛地研 読売新聞・HAKUHODO 後援 経済産業省

図3-2-12. 東京・読売新聞15段広告

大阪イベントの国内向け広報活動として、東京イベントの登録者に向けて ぶら下がり告知を配信することで、高関心層に向けてアプローチした

(ウ) 大阪イベント広報 (1/2)

事前

東京イベントの登録者向けDM



様

この度はInnovation Garden2022へご参加いただき、
ありがとうございました。

本イベントで配信された全アーカイブがEventHubで公開されました！
視聴はこちらから→<https://client.eventhub.jp/sekiopassword/eisa3Rk?token=RnFQUEQrYlkcnc3SEd2Y84N2hPRFdieG3xbG1SjU1VaSVsYVWw2NkgR3leGQrQmZTK2G3QldDQh3b24MFBoUEfNPMXZ2Wmh6VTYaUj1VmsSvXpXVURgeXYwQU1TTThma3RvaU4RzFnYkRvYEVVYVpUppnRjQTVoYzY0enZ0czZQSiRlTVVwdTg3TTE3WD8sSkxxWHVlUEplcTBaNG0wK2lQTh3PQ==&initialAccessReason=zemindMail>
視聴・ログイン期限は2022年3月31日23:59までとなっております。
またWEBサイトでは「ここにしかない」登録者が選ぶ「いま読むべき5冊」を公開中です。
→<https://innovation-garden.com/index.html>

【お知らせ】
日本のスタートアップ・イノベーションを世界に発信する
GLOBAL START_UP CONNECTION JAPANが3月10日（木）にオンライン開催されます。
Innovation Garden2022にも登場した書籍精一（パノラマティクス主宰）が
2025年大阪・関西万博のキーマンとして日本流イノベーションについて熱いセッションを展開。
さらに、万博の開催地・大阪府の吉村 洋文 知事のメッセージも配信いたします。

また2月20日（日）10:00～『食のグリーン革命-植物を食べる未来のビジョン-』に登場した
DAIZ株式会社も日本有望なスタートアップ企業としてピッチ登壇が決定しました。
こちらも是非ご視聴ください。
登録はこちらから
→<https://gsc2022-japan.jp/jp/>

【GLOBAL START_UP CONNECTION JAPAN】
2022年3月10日（木）13:00～

◆日本のスタートアップ・イノベーションの最前線とコネクト
・大阪・関西万博のキーマンであるイノベーターによるキーノート
・日本のスタートアップへの投資について深堀りするパネルディスカッション
・日本全国の有望なスタートアップによるピッチ

ご不明点がありましたら、本メールに返信ください。

イノベーションガーデン事務局



様

この度はInnovation Garden2022にご参加いただき、ありがとうございます。

現在Eventhubでは全キーノートのアーカイブを
2022年3月31日（木）23:59まで公開しております。

是非ご視聴いただき、ご意見やご感想をお寄せください。

ご回答頂きました内容につきましては、
今後のイベント運営の参考とさせていただきます。

回答はこちらから
→<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=E9pR8GQIEUKTW5L4mKhTW4S9zbCQb1C9u5U1BqBMbUjRVpWTDowWjRCSEdUk1TENKUDA1U0c2RS4u>
※所要時間3分程度

【お知らせ】
遂に明日！日本のスタートアップ・イノベーションを世界に発信する
GLOBAL START_UP CONNECTION JAPAN が3月10日（木）にオンライン開催されます。

イノベーションガーデンにも登場した書籍精一（パノラマティクス主宰）が
2025年大阪・関西万博のキーマンとして日本流イノベーションについて熱いセッションを展開します。

登録はこちらから
→<https://gsc2022-japan.jp/jp/>

【GLOBAL START_UP CONNECTION JAPAN】
2022年3月10日（木）13:00～
=====

その他ご不明点がありましたら、本メールに返信ください。

イノベーションガーデン事務局

図3-2-13. 東京イベントの登録者向けDM

海外向けには関係者のネットワークを活用して、SNS（LinkedIn）で告知活動を行うことで、高関心層に向けてアプローチした

(ウ) 大阪イベント広報 (2/2)

イベントロゴ、登壇者の顔をデザインしたバナーを制作し、告知文と合わせて投稿した。



【Online event to showcase Japanese startups】

We are happy to announce Global Startup Connection Japan will be held on 10th March 13:00-16:25 JST!

- ✓ Pitches by 18 promising Japanese startups
- ✓ Panel discussion by VCs investing in Japanese startups
- ✓ Keynote panel by innovators from Expo 2025 Osaka, Kansai

Find out more and sign up for free!!

<https://gsc2022-japan.jp/>

The event is organized by Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan (METI)

#startups #event #pitch #VC #venturecapital #innovation
#health #Bio #Food #space #energy #technology #IoT #drone
#AI #software

図3-2-14. 大阪・SNS広報

SNSによる広告の他、WEB広告を実施した。また、東北イスラエルプログラムの関係者へ広報を依頼し、多くのポテンシャルビジネスパートナーへ広報した

(エ) 仙台イベント広報

Facebookによる周知・宣伝

広告宣伝

プログラム広告宣伝を目的とした Facebook アカウントを作成し、直接投稿による広告宣伝の他、Facebook 上の広告欄に出稿し、トラクションを集めた



図3-2-15. 仙台・Facebook広報

リーチ 20,727名

イベントの返答 77名

CPA
(コストパーアクション) 290円

関係団体への個別連絡

広告宣伝

東北イスラエルプロジェクトにて主催、共催、後援として関係のあった諸団体の他、プログラム全体を通して関わった関係者による広告宣伝を実施した

- ✓ 宮城県
- ✓ 仙台市
- ✓ 東北大学
- ✓ 公益財団法人日本財団
- ✓ 一般社団法人ImpacTech Japan
- ✓ 一般社団法人 関西経済同友会
- ✓ 東北経済産業局
- ✓ 独立行政法人日本貿易振興機構
- ✓ 駐日イスラエル大使館

第四章．まとめ

事業全体の総評

日本発のユニコーン企業創出に向け、SU創造拠点形成として「東京・大阪・仙台」の3都市を起点に日本のSUの魅力やイノベーションの動向を世界に届け、今後の礎を築いた

グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業 総評

事業コンセプトと開催拠点

総評

一の矢



エコシステムランキング9位に入り、世界的にも注目を集めている東京において海外からの注目を集めるイベントを開催する

- 目標を上回る数の参加があり、幅広い世代・職種のビジネスパーソンに対して「日本流イノベーション」を発信することができた
- コロナ禍で直前に完全オンライン開催への切り替えを余儀なくされたが、次回はリアル開催を実現し、告知の改善点を踏まえてさらなる参加者の増大と、日本のイノベーションの盛り上がりを創出していく
- 登壇者や参加者と築くことができた関係値を、次回以降のさらなるコンテンツの充実と共創コミュニティの構築に繋げたい

二の矢



グローバル拠点都市及び推進拠点都市間の連携を実現するため、完全オンラインで開催する。イベント開催拠点は、2025年に万博を控える大阪を選定し、海外の注目を高めつつ、全国各地域の有力スタートアップと海外投資家とのマッチングを目指す

- 日本のスタートアップに関心を持つ海外投資家/VCに参加いただき、日本のスタートアップの魅力を発信し、海外投資家/VCへの訴求を実現した
- 次回以降、海外投資家/VCのターゲット像（国・地域、分野、投資対象条件等）をより明確にし、それにマッチする可能性の高いスタートアップを公募することでマッチング確度の高いイベントを実現できると思料する
- 本イベントを一過性のものに終わらせず、海外展開を目指すスタートアップ、及び海外投資家/VCのコミュニティを形成することにより、国際競争力を高めていくことに繋がると思料する

三の矢



震災からの10年で東北スタートアップエコシステムは飛躍的に成長した。特につなかりの深いイスラエルや米国などの海外進出支援を強力に押し進めている。10年という契機に復興から振興への切り替えを明確に海外に発信していくため、仙台でイベントを開催する

- 東北のスタートアップにとって海外投資家とのコネクションを持つことができ、海外進出までのタイムラインを大幅に短縮できると期待される
- 次回開催では海外投資家の活動時間帯、行動特性に併せた形で開催することにより、海外投資家への確実なトラッキングを実施する
- 本イベントを定期的実施することで海外投資家に日本のスタートアップを認知させるとともに、投資家、スタートアップ間のコミュニティを形成する